

平成19年度(3)

県政モニター アンケート報告書

テーマ「交通安全」

平成19年11月

も く じ

調査の概要	1
-------------	---

調査結果

1 高齢者に対する交通事故防止対策	3
2 飲酒運転等の罰則強化	8
3 違法駐車取締り	12
4 交通規制	16
5 信号機	20
6 広報啓発活動	25
7 自由意見	29

質問と回答	36
-------------	----

I 調査の概要

1 調査のテーマ

交通安全

2 調査の趣旨

愛知県警察では、愛知県を始め県内の自治体、関係機関・団体等と連携を強化して、交通事故死全国ワースト1位を返上するために、新規対策を含めた各種の交通事故抑止対策に取り組んでおり、6月末現在、事故死者は減少しています。

しかし、都道府県別事故死者数では、依然としてワースト上位にあり、今後の事故情勢によっては、「3年連続事故死ワースト1位阻止」という目標の達成が危惧されます。

そこで今回のアンケートは、愛知県警察や愛知県などが取り組んでいる交通事故抑止対策について県民の認識や意識を正しく認識し、今後の交通死亡事故抑止対策に生かし、県民に対して目に見える成果が上がるよう、県政モニターの皆様にご意見をお聞きしました。

3 調査対象

県政モニター 499人 (平成19年7月16日現在)

内訳

区 分	計		名古屋地域	尾張地域	三河地域	
	人 員	構 成 比				
総 数	499人	100.0%	154人	189人	156人	
性 別	男 性	244	48.9	76	93	75
	女 性	255	51.1	78	96	81
年 代 別	20 代	70	14.0	20	26	24
	30 代	111	22.3	36	41	34
	40 代	91	18.2	24	36	31
	50 代	86	17.2	22	35	29
	60 代 以上	141	28.3	52	51	38

4 調査期間

平成19年7月17日から平成19年7月29日まで

5 調査方法

郵送・インターネット

6 回答者数

485人 (回収率 97.2%)

記号・符号・用語の説明

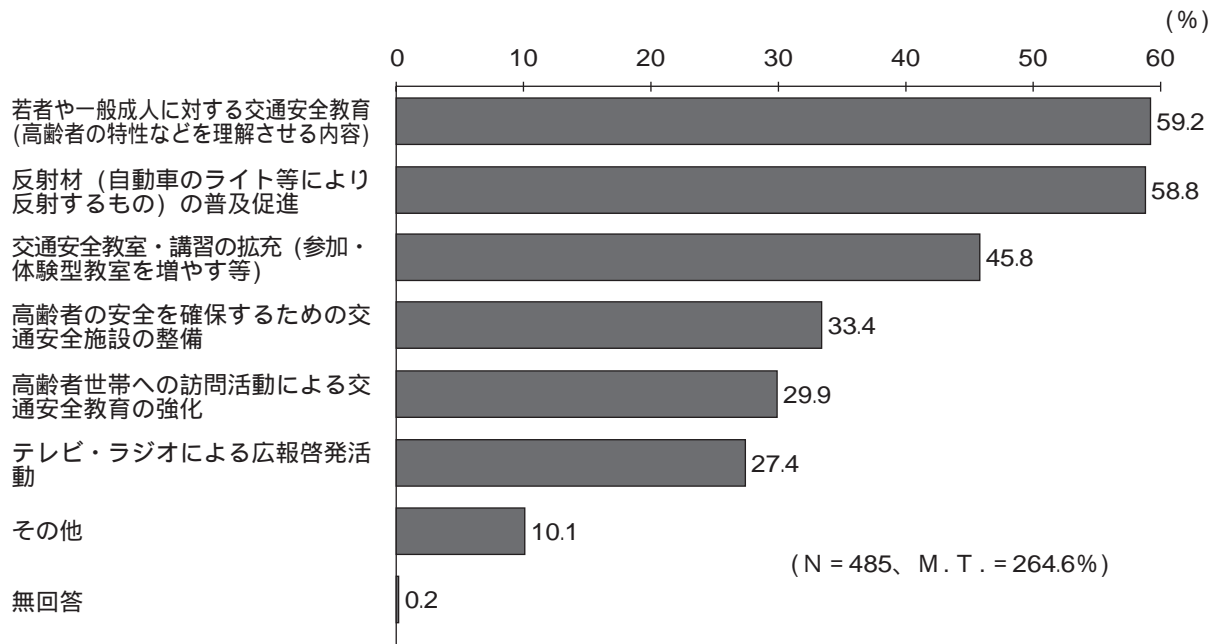
- (1) N (Number of Cases の略) は比例算出の基数であり、100%が何人の回答者に相当するかを示す。
- (2) M.T.(Multiple Total) は複数回答を認める質問に対する回答の比率の合計を示す。(無回答者の数値は含まない。)
- (3) (-) は該当数値のないことを示す。

II 調査結果

1 高齢者に対する交通事故防止対策

問1 昨年、高齢者の交通事故死者は全事故死者の約4割を占め、そのうち約7割が歩行中と自転車利用中に発生しました。

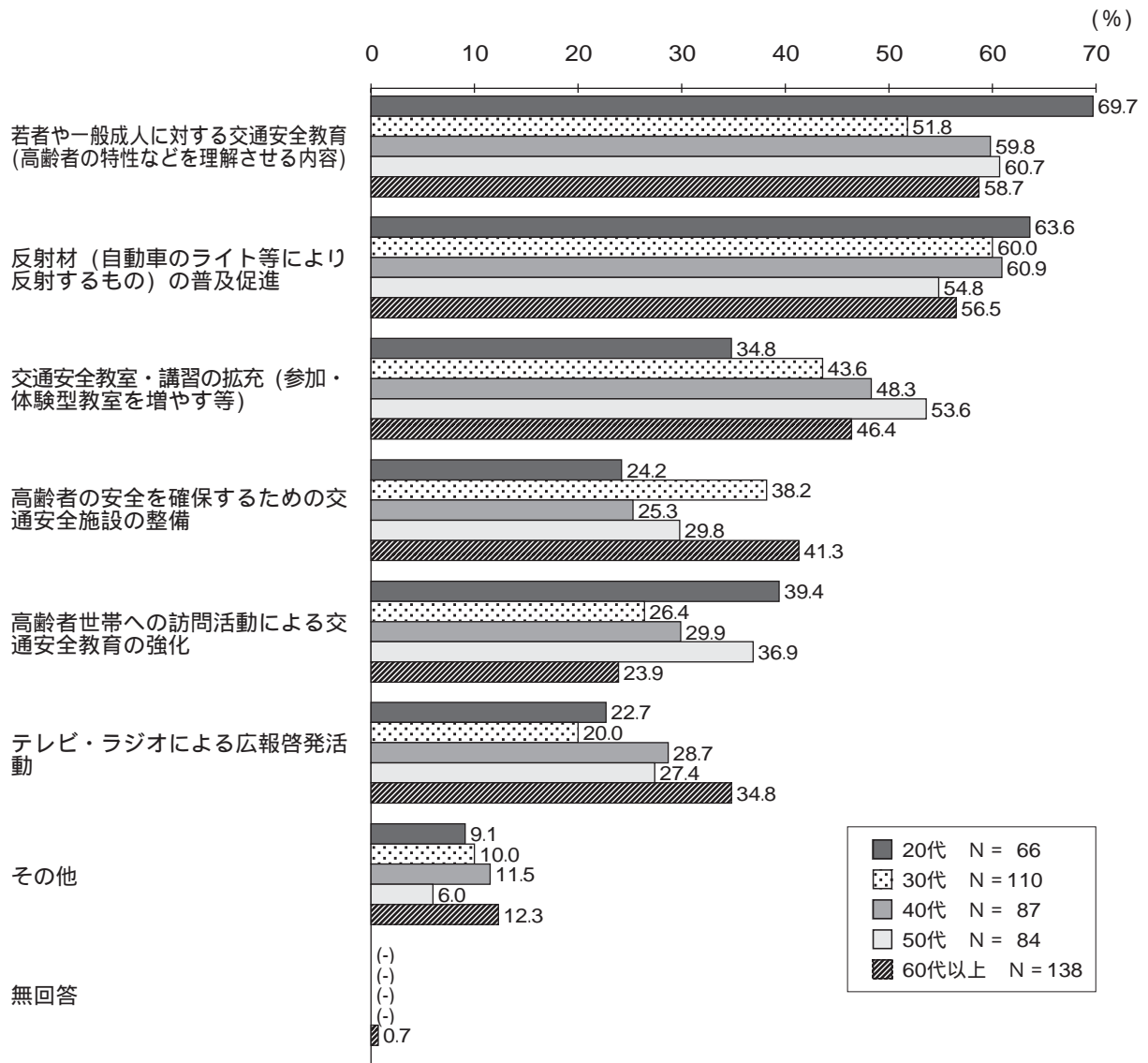
高齢者が被害者となる事故を抑止するためには、交通指導取締りを強化する以外にどのような対策が効果的だと思いますか。(回答は3つ以内)



高齢者が被害者となる事故を抑止するためには、交通指導取締りを強化する以外にどのような対策が効果的だと思うかを尋ねたところ、「若者や一般成人に対する交通安全教育 (高齢者の特性などを理解させる内容)」が59.2%、「反射材 (自動車のライト等により反射するもの) の普及促進」が58.8%、「交通安全教室・講習の拡充 (参加・体験型教室を増やす等)」が45.8%などとなっている。

年代別にみると、「若者や一般成人に対する交通安全教育 (高齢者の特性などを理解させる内容)」と答えた人の割合は20代で高くなっている。

(年代別)



高齢者が被害者となる事故を抑止するための対策については、「若者や一般成人に対する交通安全教育（高齢者の特性などを理解させる内容）及び「反射材（自動車のライト等により反射するもの）の普及促進」と答えた人の割合が、各年代とも5割を超えています。特に、20代が顕著に高くなっています。

今後も交通安全教育の場において、受講者に対して高齢者の交通事故実態及び特性を分かりやすく伝えるとともに、愛知県を始めとした自治体、関係機関・団体等との連携をより一層強化して、反射材の普及促進を図り、高齢者の交通事故防止を推進していきます。

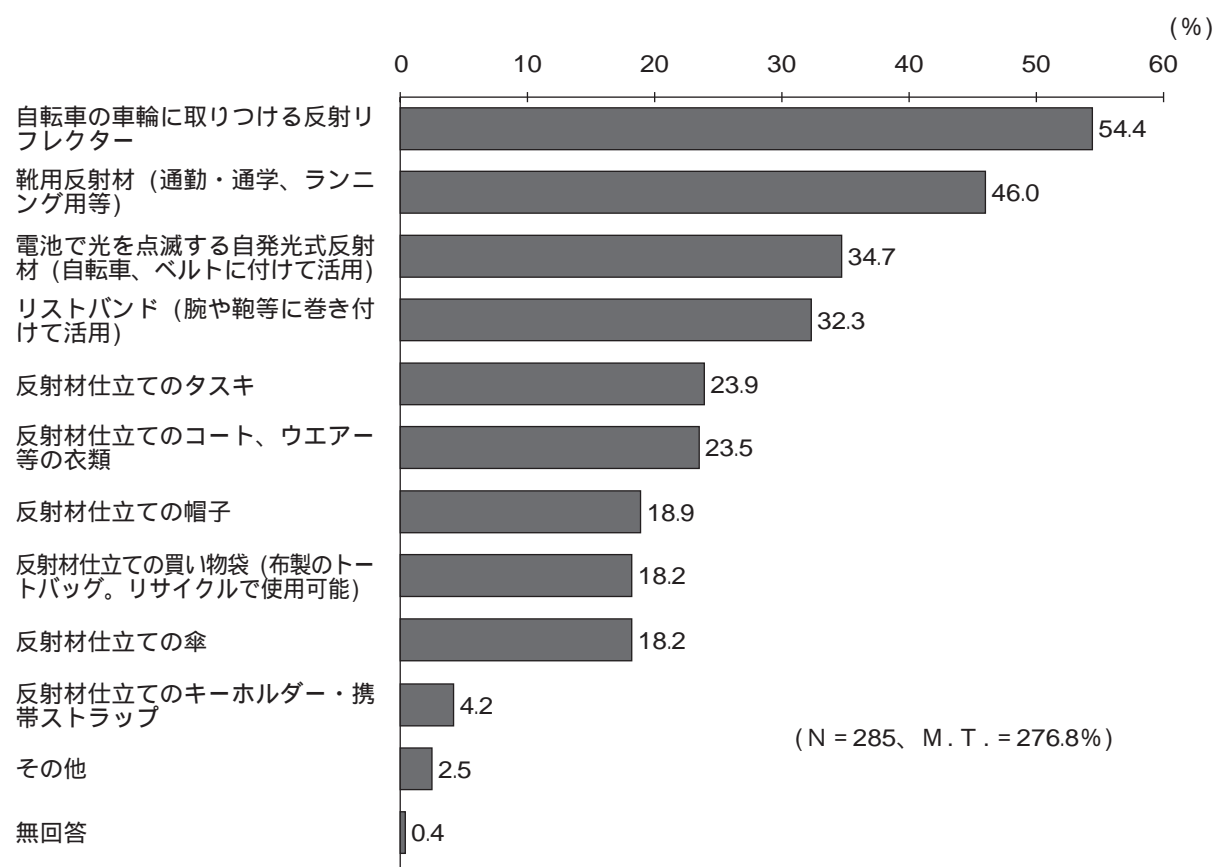
(愛知県警察本部交通部交通総務課)

<問1で「反射材（自動車のライト等により反射するもの）の普及促進」と答えた方にお聞きします。>

問2 夜間の交通事故を防ぐには、白や黄色などの明るく目立つ服装や反射材を身につけ、ドライバーに自分の存在をアピールすることが大切です。

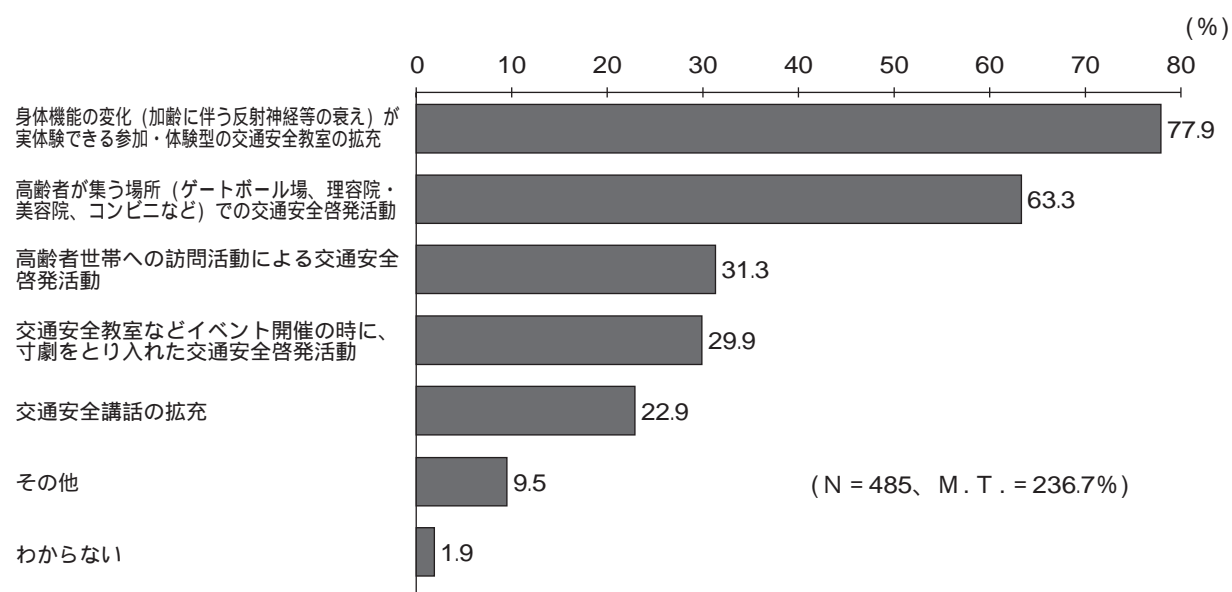
既に活用している又は活用したい反射材用品は、どのようなものだと思いますか。

(回答は3つ以内)



反射材の普及促進と答えた人に、既に活用している又は活用したい反射材用品はどのようなものだと思うかを尋ねたところ、「自転車の車輪に取りつける反射リフレクター」が54.4%、「靴用反射材 (通勤・通学、ランニング用等)」が46.0%、「電池で光を点滅する自発光式反射材 (自転車、ベルトに付けて活用)」が34.7%、「リストバンド (腕や鞆等に巻き付けて活用)」が32.3%などとなっている。

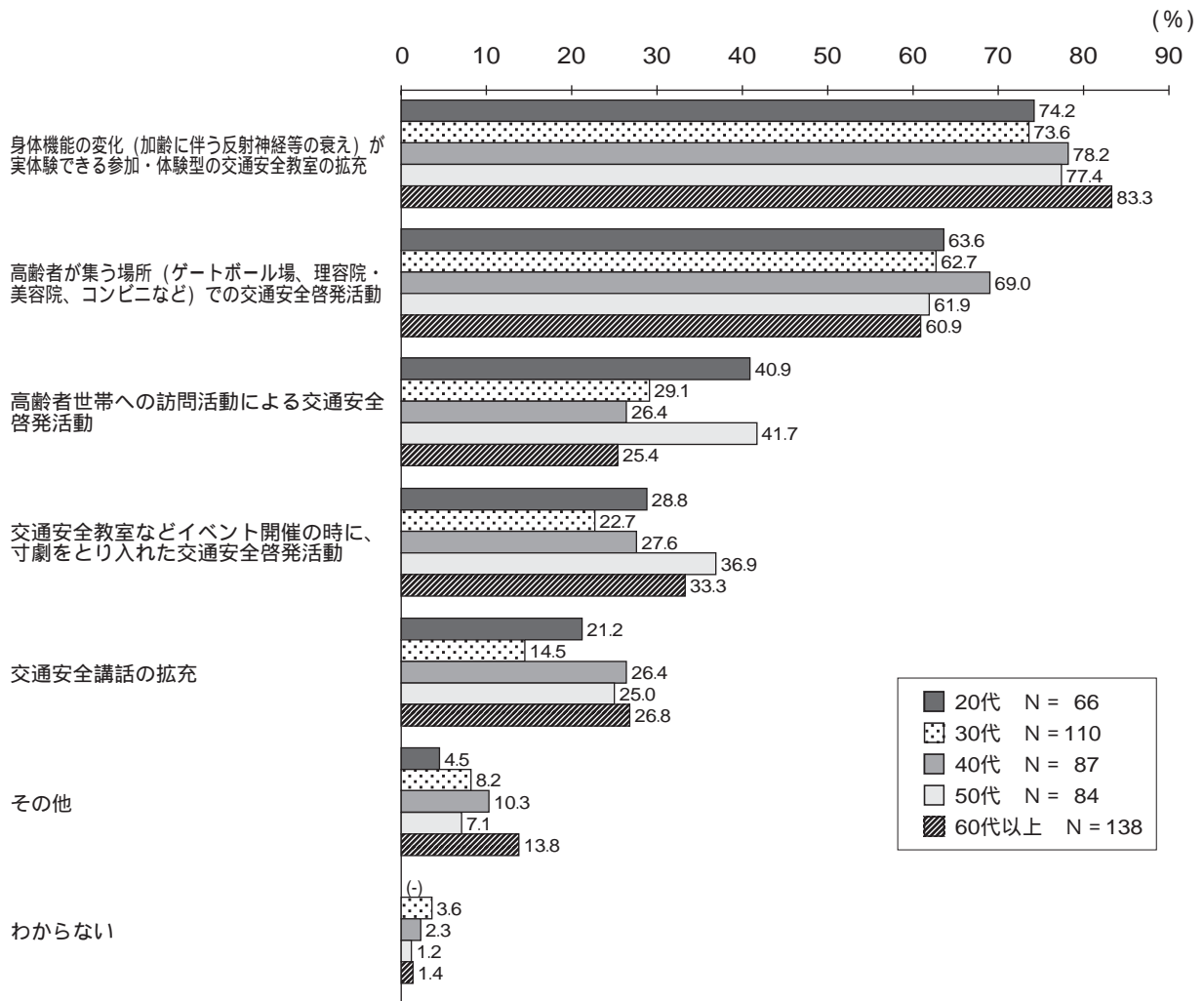
問3 高齢者が交通事故に遭わないための高齢者向けの交通安全教育・啓発活動で効果的だと思うものは、どのような活動だと思いますか。(回答は3つ以内)



高齢者が交通事故に遭わないための高齢者向けの交通安全教育・啓発活動で効果的だと思うものは、どのような活動だと思うかを尋ねたところ、「身体機能の変化（加齢に伴う反射神経等の衰え）が実体験できる参加・体験型の交通安全教室の拡充」が77.9%、「高齢者が集う場所（ゲートボール場、理容院・美容院、コンビニなど）での交通安全啓発活動」が63.3%、「高齢者世帯への訪問活動による交通安全啓発活動」が31.3%などとなっている。

年代別にみると、「身体機能の変化（加齢に伴う反射神経等の衰え）が実体験できる参加・体験型の交通安全教室の拡充」と答えた人の割合は60代以上で高くなっている。

(年代別)



効果的な高齢者向けの交通安全教育・啓発活動については、「身体機能の変化（加齢に伴う反射神経等の衰え）が実体験できる参加・体験型の交通安全教室の拡充」と答えた人の割合が、各年代で7割を超え、選択肢の中で最も高くなっています。

平成18年度から身体機能の変化が実体験できる参加・体験型の交通安全教室として「高齢者交通安全実践講座」を県内7か所で開催し、今年は、開催箇所を昨年の7か所から25か所へ拡充しています。

高齢者が集う場所での交通安全啓発活動については、県内の理容・美容店などに高齢者交通安全協力店（467店）に委嘱し、今年から県内の寺院を高齢者交通安全協力寺院（203寺院）に委嘱して交通安全啓発活動を推進しています。

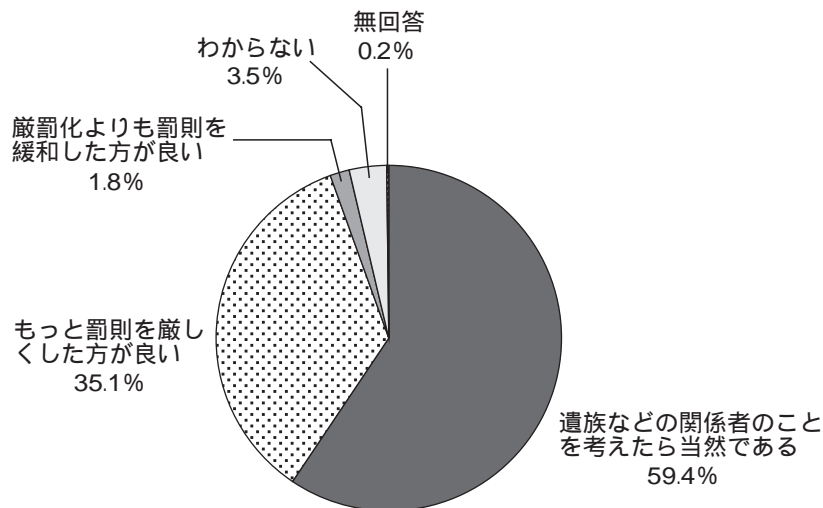
(愛知県警察本部交通部交通総務課)

2 飲酒運転等の罰則強化

問4 本年6月12日から人身交通事故を起こした方に対する法律が変わり（自動車運転過失致死傷罪の新設）、さらに6月20日に飲酒運転者がより一層厳しく処罰されることを内容とした改正道路交通法が公布されました。

このような厳罰化に対してどのように思いますか。（回答は1つ）

N = 485



飲酒運転者がより一層厳しく処罰されることに対してどのように思うかを尋ねたところ、「遺族などの関係者のことを考えたら当然である」が59.4%、「もっと罰則を厳しくした方が良い」が35.1%、「厳罰化よりも罰則を緩和した方が良い」が1.8%などとなっている。

飲酒運転者等の厳罰化について、「遺族などの関係者のことを考えたら当然である」、「もっと罰則を厳しくした方が良い」と答えた人を併せると94.5%になり、飲酒運転の根絶に向けた気運が高まっていることがうかがわれます。

今後も飲酒運転取締りを強化するとともに、改正道路交通法を積極的に適用し、飲酒運転者に対する車両提供・酒類提供、飲酒運転車両への同乗など飲酒運転を助長する行為に対しても取締りを強化していきます。

(愛知県警察本部交通部交通指導課)

問5 道路交通法は、主に次のような点が改正されましたが、あなたはこのことをご存知でしたか。

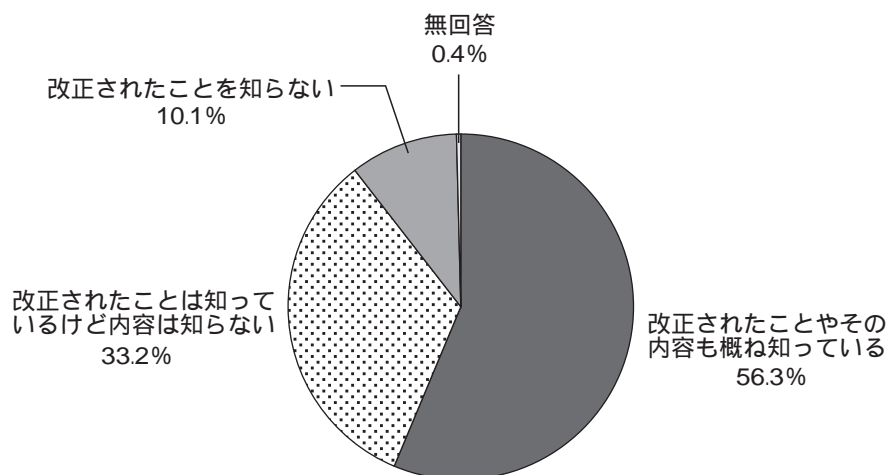
(回答は1つ)

主な改正点

飲酒運転

酒酔い運転と酒気帯び運転の罰則強化、車両提供者や同乗者に対する罰則の新設など
後部座席のシートベルト着用の義務化

N = 485

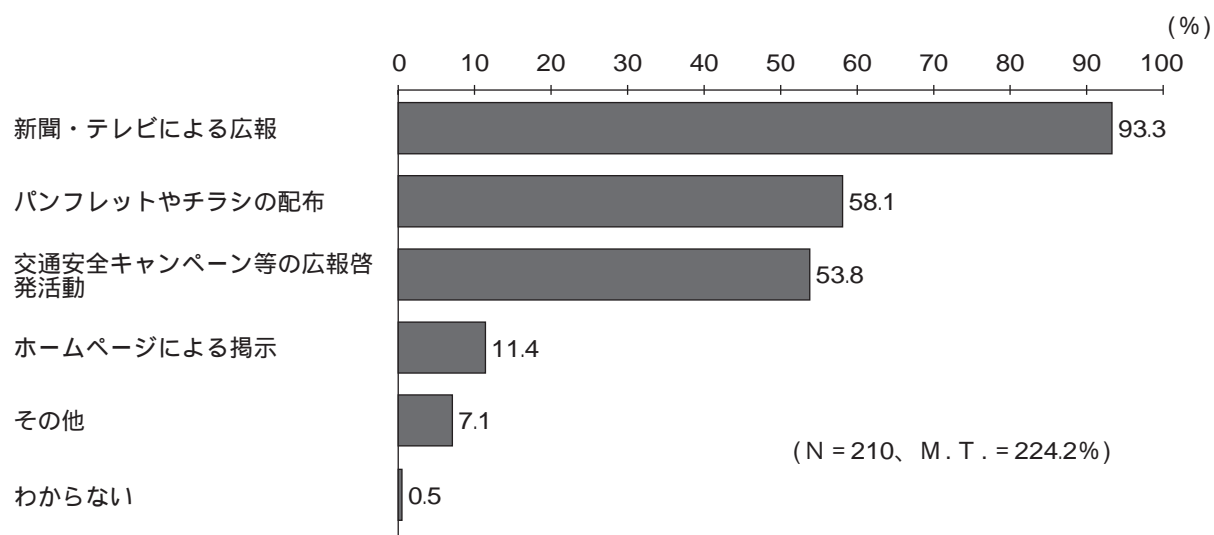


道路交通法が改正されたことを知っているかを尋ねたところ、「改正されたことやその内容も概ね知っている」が56.3%、「改正されたことは知っているけど内容は知らない」が33.2%、「改正されたことを知らない」が10.1%となっている。

<問5で「改正されたことは知っているけど内容は知らない」、「改正されたことを知らない」と答えた方にお聞きします。>

問6 改正内容を広く県民の皆さんに周知するにはどのような方法が良いと思いますか。

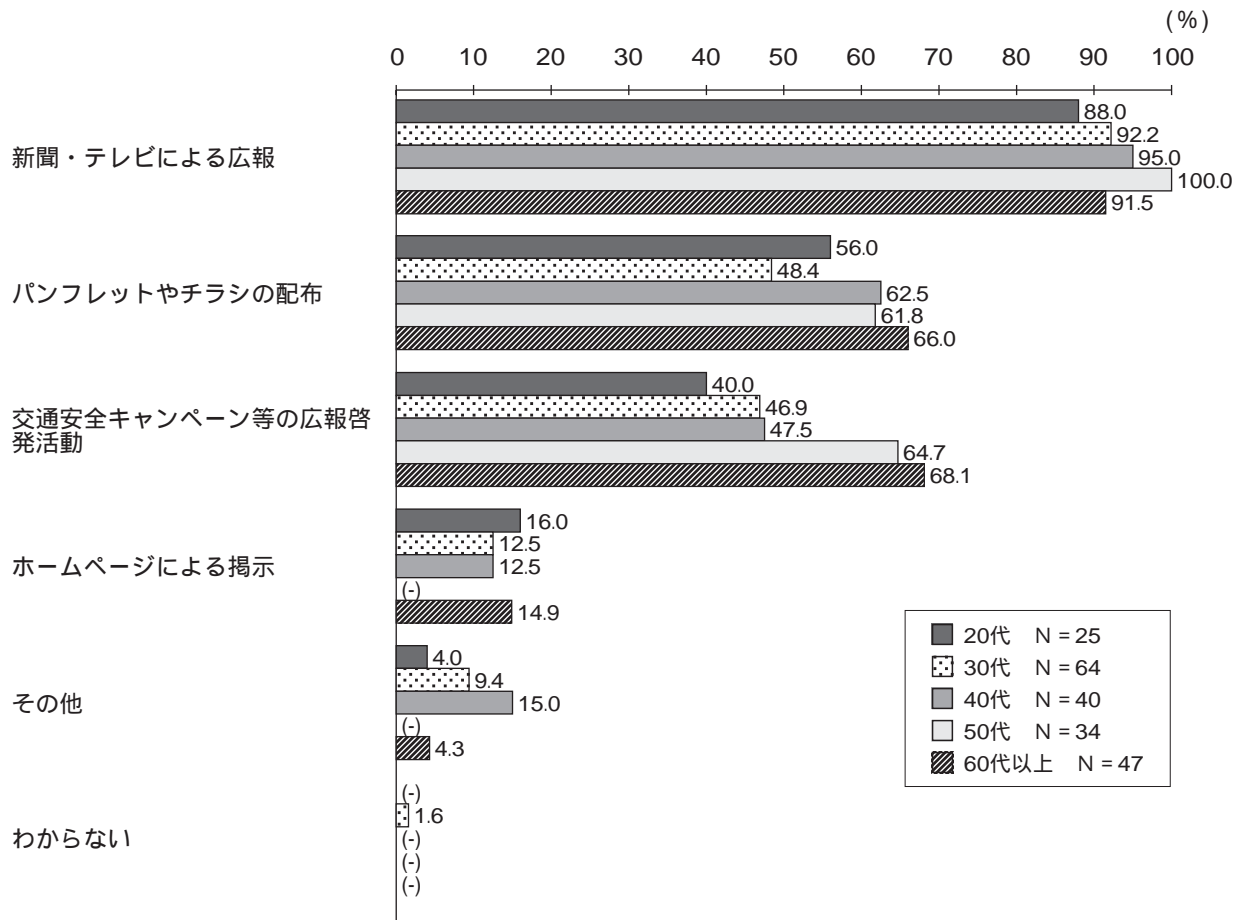
(回答は3つ以内)



道路交通法の改正内容や改正されたことを知らないと答えた人に、改正内容を広く県民の皆さんに周知するにはどのような方法が良いと思うかを尋ねたところ、「新聞・テレビによる広報」が93.3%、「パンフレットやチラシの配布」が58.1%、「交通安全キャンペーン等の広報啓発活動」が53.8%などとなっている。

年代別にみると、「新聞・テレビによる広報」と答えた人の割合は50代で、「交通安全キャンペーン等の広報啓発活動」と答えた人の割合は50代と60代以上で、それぞれ高くなっている。

(年代別)



改正内容を広く県民の皆さんに周知する方法として「新聞・テレビによる広報」と答えた人の割合が93.3%と非常に高く、各年代においても最も高い割合となっています。

現在、チラシやリーフレットを活用した広報啓発活動を展開し、テレビ・ラジオ等のマスメディアやあらゆる広報媒体を活用して、広く県民に改正内容を周知していきます。

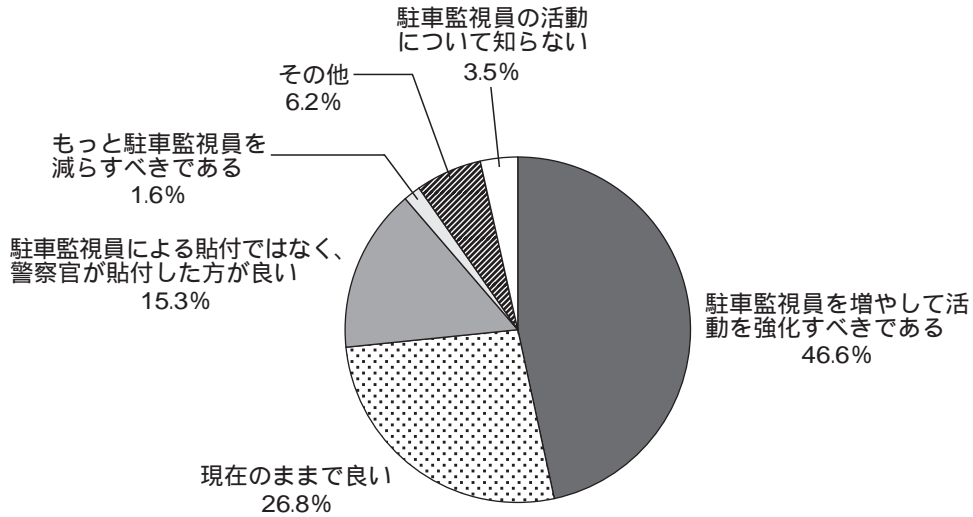
(愛知県警察本部交通部交通総務課)

3 違法駐車取締り

問7 昨年6月から民間委託された駐車監視員による活動（2人一組による違法駐車車両に対する確認標章の貼付）について、どのように思いますか。

なお、現在、駐車監視員は名古屋市内のみで活動しています。（回答は1つ）

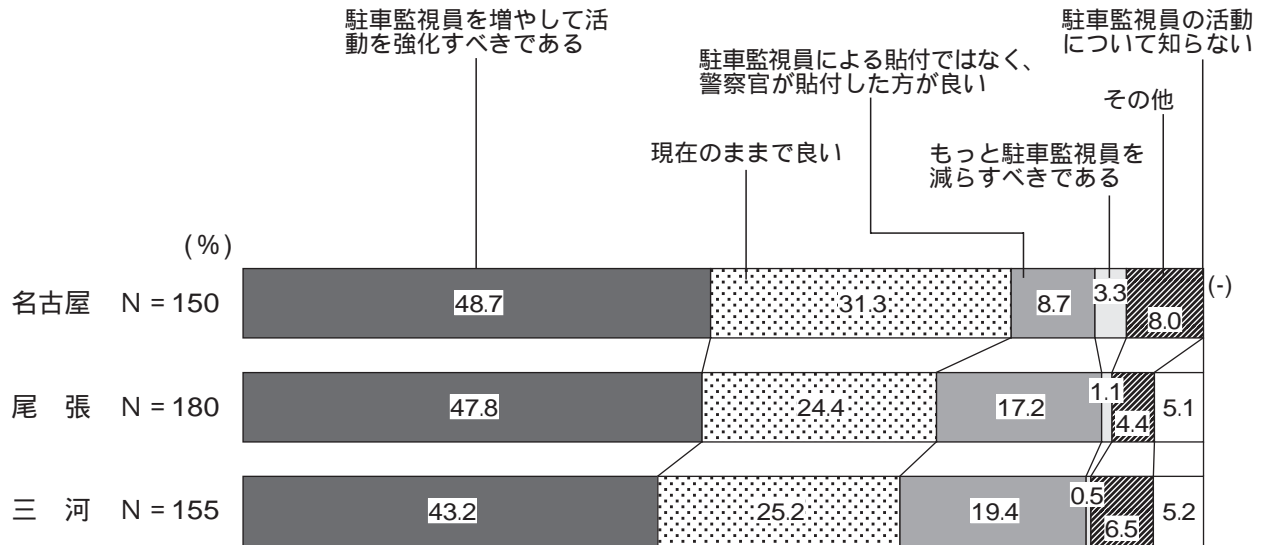
N = 485



昨年6月から民間委託された駐車監視員による活動（2人一組による違法駐車車両に対する確認標章の貼付）について、どのように思うかを尋ねたところ、「駐車監視員を増やして活動を強化すべきである」が46.6%、「現在のままで良い」が26.8%、「駐車監視員による貼付ではなく、警察官が貼付した方が良い」が15.3%などとなっている。

地域別にみると、「駐車監視員を増やして活動を強化すべきである」、「現在のままで良い」と答えた人の割合は名古屋地域で最も高くなっている。

(地域別)

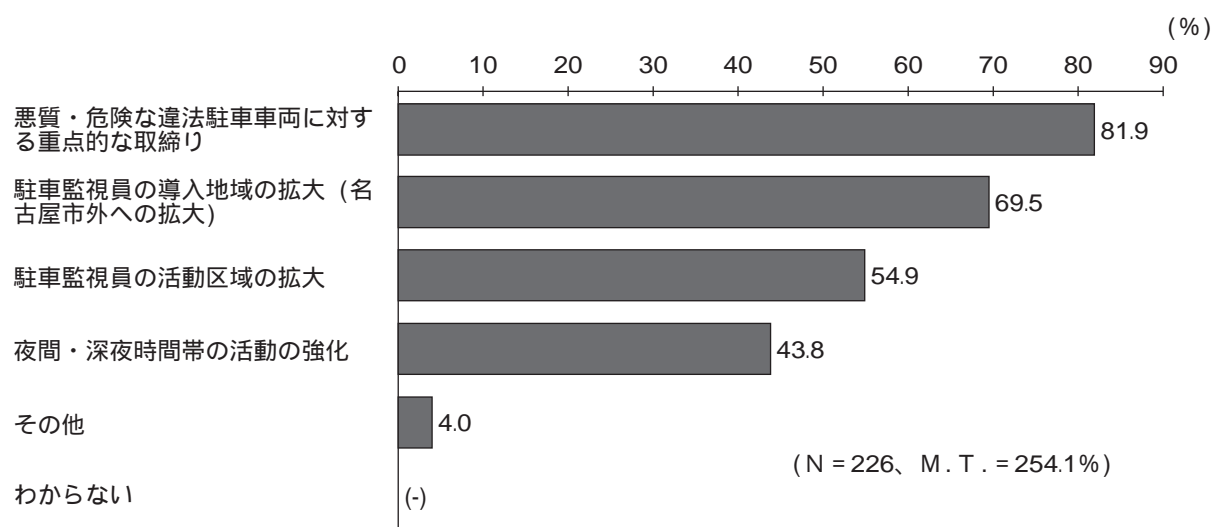


駐車監視員による活動について、「駐車監視員を増やして活動を強化すべきである」と答えた人の割合が、現在、活動している名古屋市内において約5割、「現在のままで良い」と答えた人と合わせると8割となり、駐車監視員による活動に対する関心が高いことがうかがわれます。

今後は、名古屋市内を含めた県内全域の駐車違反の実態を踏まえて駐車監視員を適正に配置していきます。
(愛知県警察本部交通部駐車対策課)

<問7で「駐車監視員を増やして活動を強化すべきである」と答えた方にお聞きします。>

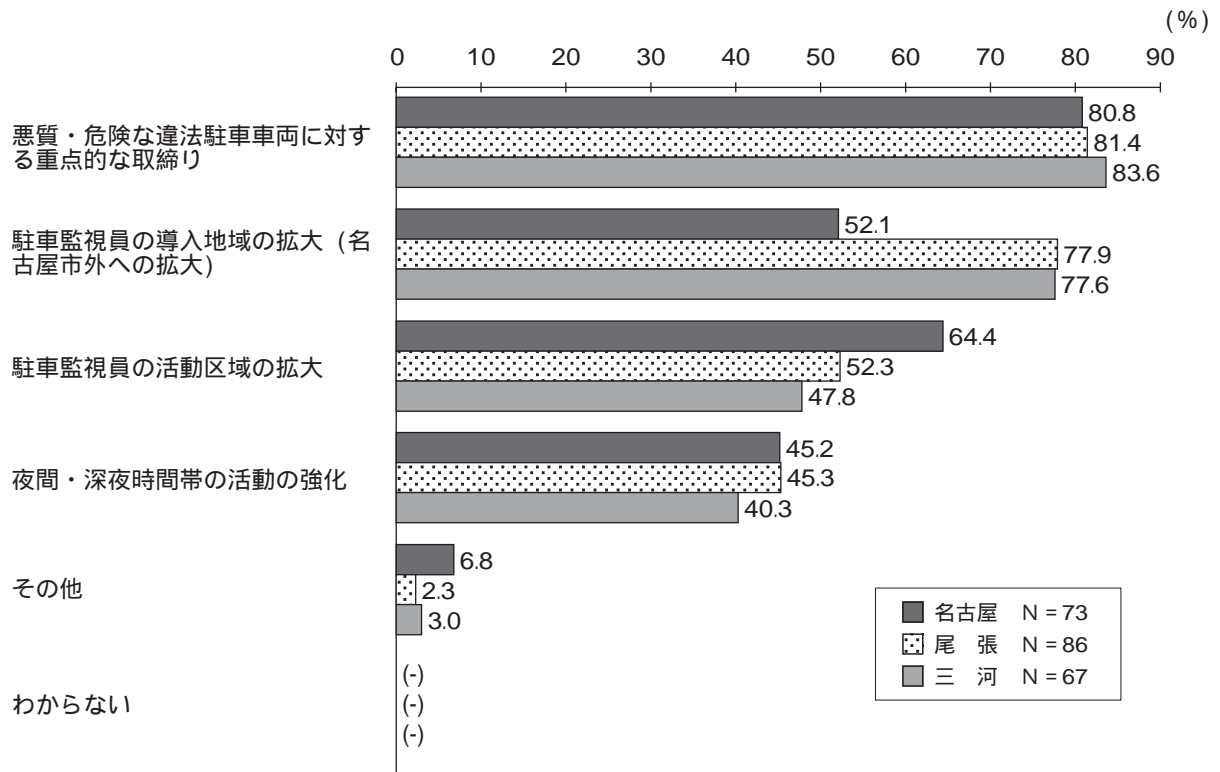
問8 どのような活動を強化したらよいと思いますか。(回答は3つ以内)



駐車監視員を増やして活動を強化すべきであると答えた人に、どのような活動を強化したらよいと思うかを尋ねたところ、「悪質・危険な違法駐車車両に対する重点的な取締り」が81.9%、「駐車監視員の導入地域の拡大 (名古屋市外への拡大)」が69.5%、「駐車監視員の活動区域の拡大」が54.9%、「夜間・深夜時間帯の活動の強化」が43.8%などとなっている。

地域別にみると、「駐車監視員の導入地域の拡大 (名古屋市外への拡大)」と答えた人の割合は尾張地域と三河地域で、「駐車監視員の活動区域の拡大」と答えた人の割合は名古屋地域で、それぞれ高くなっている。

(地域別)



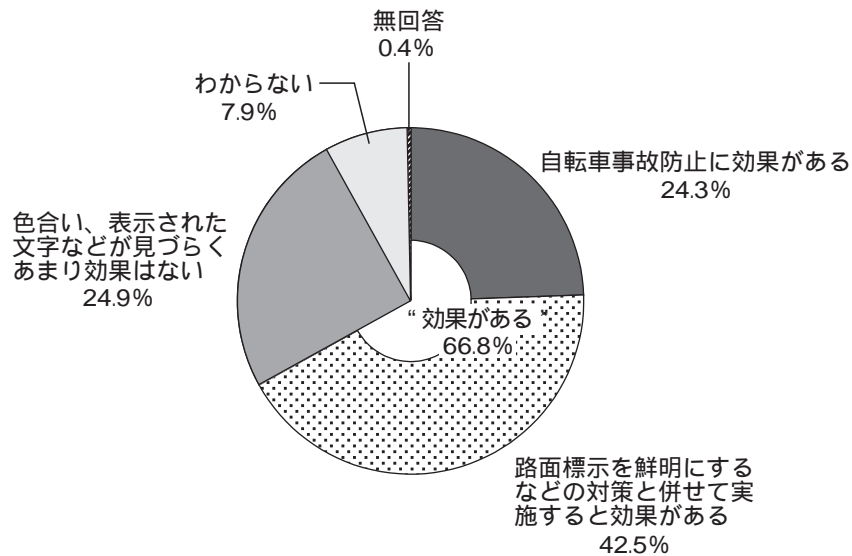
「駐車監視員を増やして活動を強化すべきである」と答えた人の中で、「悪質・危険な違法駐車車両に対する重点的な取締り」と答えた人の割合が、各地域で8割を超えており、悪質・危険な違法駐車に対する取締りを望む意見が多いことがうかがわれます。

駐車監視員の導入地域については、10月1日から愛知署、春日井署、一宮署、安城署、岡崎署、豊田署、豊橋署の7警察署管内へ拡大して活動するとともに、名古屋市内における活動区域を見直して、活動区域を拡大しています。特に、名古屋市中心部の歓楽街については、駐車監視員の活動時間帯を終日にして、夜間から深夜の活動を強化しています。(愛知県警察本部交通部交通総務課)

4 交通規制

問9 生活道路の一時停止標識柱に「自転車も止まれ」反射材シール（オレンジ色の反射材に黒色の文字）を9月末までに貼付し、自転車の交通事故防止を図っていきます。こうした対策についてどう思いますか。（回答は1つ）

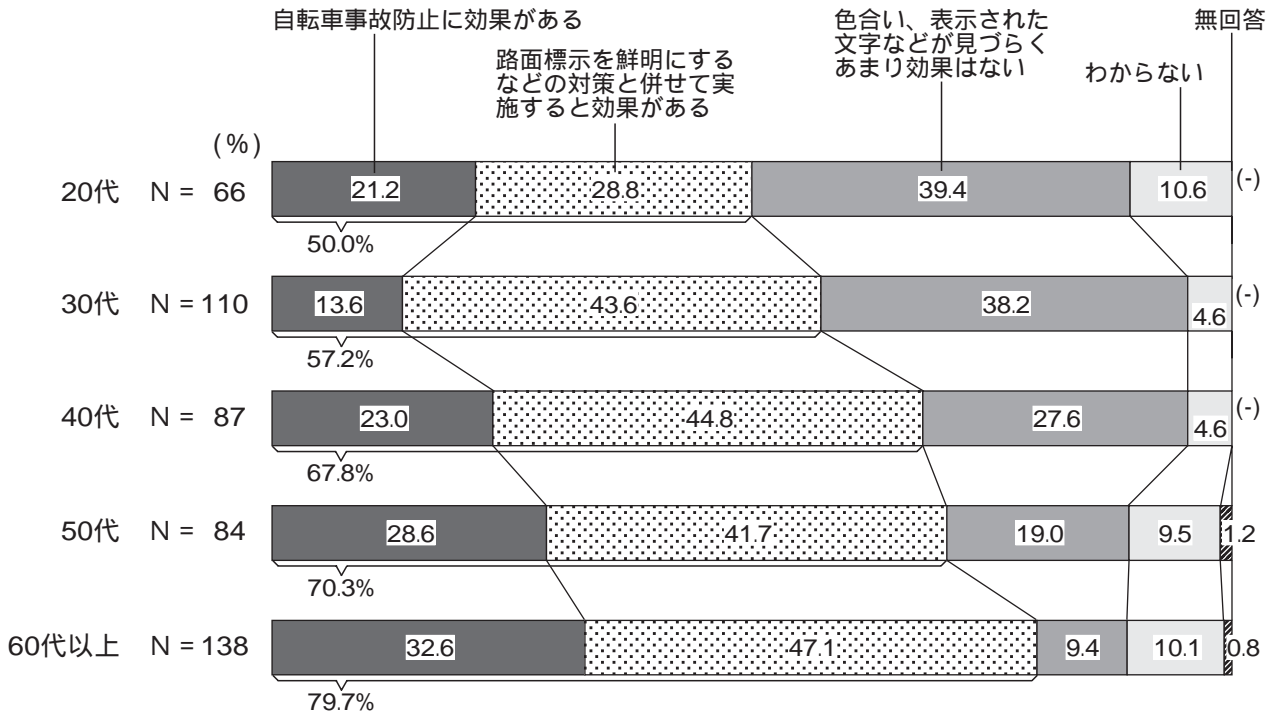
N = 485



生活道路の一時停止標識柱に「自転車も止まれ」反射材シール（オレンジ色の反射材に黒色の文字）を貼付し、自転車の交通事故防止を図ることについてどう思うかを尋ねたところ、「自転車事故防止に効果がある」24.3%、「路面標示を鮮明にするなどの対策と併せて実施すると効果がある」42.5%で、合わせた“効果がある”が66.8%に対し、「色合い、表示された文字などが見づらくあまり効果はない」は24.9%などとなっている。

年代別にみると、“効果がある”と答えた人の割合は高齢になるほど高くなっている。

(年代別)



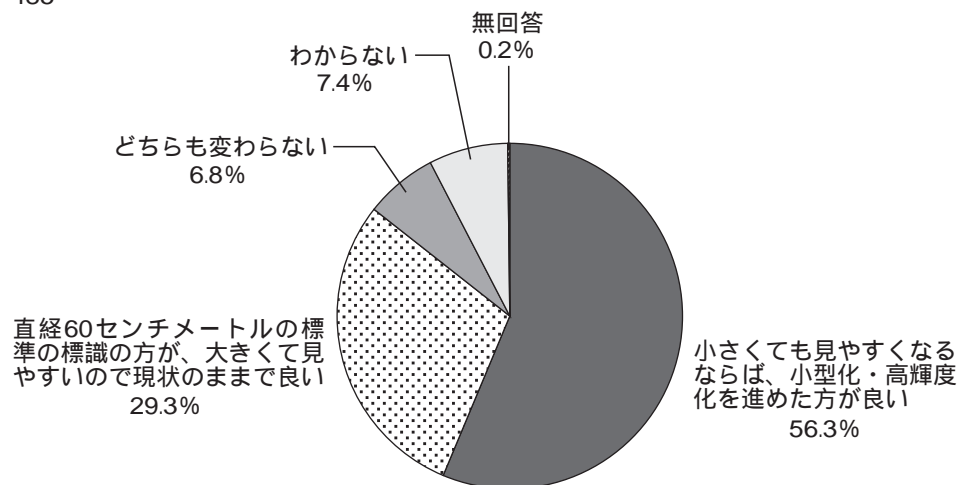
一時停止標識柱への「自転車も止まれ」反射材シール貼付による自転車の交通事故防止対策について、「路面標示を鮮明にするなどの対策と併せて実施すると効果がある」と「自転車事故防止に効果がある」と答えた人を合わせると各年代で5割を超えており、特に、60代以上が約8割となることから、高齢者に対する交通事故防止対策として効果が期待できることがうかがわれます。

「自転車も止まれ」反射材シールの貼付は、自転車事故多発学区等を中心に貼付して、交差点における自転車事故抑止を図っています。
 (愛知県警察本部交通部交通規制課)

問10 通行車両が道路標識を損傷したり、道路標識と接触して方向が変わったりしている現状を改善するため、道路標識の大きさを直径60センチメートルから直径40センチメートルに小さくし、更に、高輝度（反射しやすく見やすい）の道路標識の設置を推進しています。

道路標識の小型化・高輝度化を推進することについて、どのように思いますか。（回答は1つ）

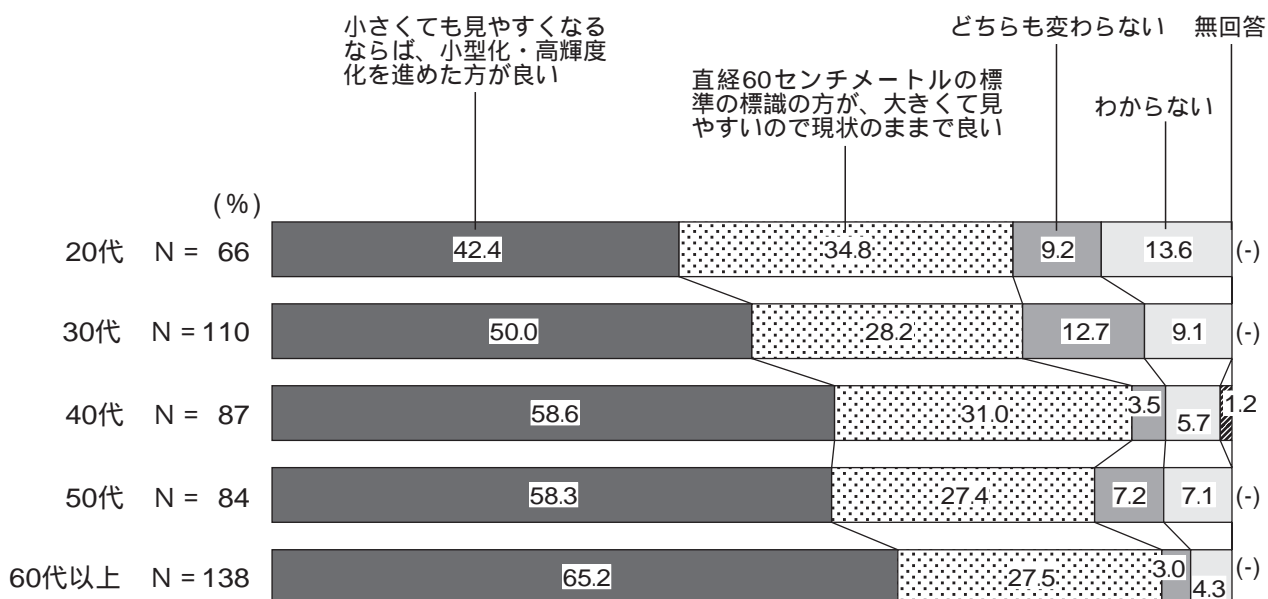
N = 485



道路標識の小型化・高輝度化を推進することについて、どのように思うかを尋ねたところ、「小さくても見やすくなるならば、小型化・高輝度化を進めた方が良い」が56.3%、「直経60センチメートルの標準の標識の方が、大きくて見やすいので現状のままで良い」が29.3%、「どちら変わらない」が6.8%などとなっている。

年代別にみると、「小さくても見やすくなるならば、小型化・高輝度化を進めた方が良い」と答えた人の割合は60代以上で高くなっている。

(年代別)



道路標識の小型化・高輝度化の推進について、「小さくても見やすくなるならば、小型化・高輝度化を進めた方がよい」と答えた人の割合が、年代別で20代を除く他の年代で5割を超えており、特に、60代以上は65.2%と高い割合であり、高齢者の支持を得ていることがうかがわれます。

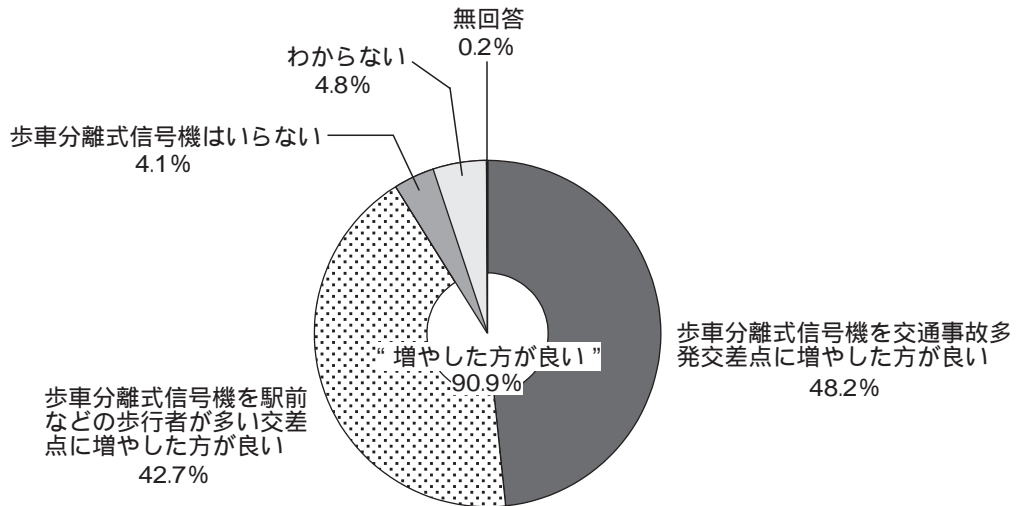
アンケート結果を踏まえ、今後も道路幅員の狭い生活道路を中心に標識の小型化・高輝度化を推進していきます。
(愛知県警察本部交通部交通規制課)

5 信号機

問11 信号交差点内での横断歩行者事故を防止するため、歩行者が横断するとき、通行車両用の信号機を全て赤色にする「歩車分離式信号機」が設置されている交差点があります。

このような「歩車分離式信号機」についてどう思いますか。(回答は1つ)

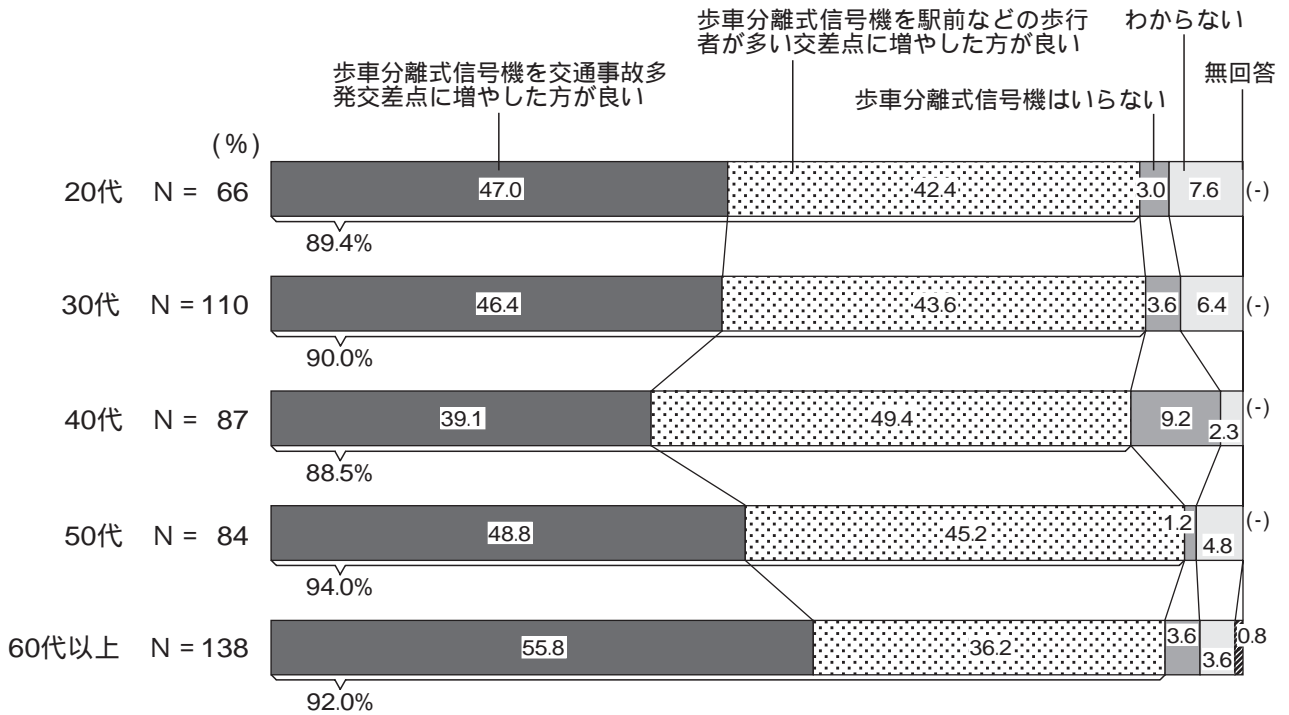
N = 485



信号交差点内での横断歩行者事故を防止するため、歩行者が横断するとき、通行車両用の信号機を全て赤色にする「歩車分離式信号機」についてどう思うかを尋ねたところ、「歩車分離式信号機を交通事故多発交差点に増やした方が良い」48.2%、「歩車分離式信号機を駅前などの歩行者が多い交差点に増やした方が良い」42.7%で、合わせた“増やした方が良い”が90.9%となっている。

年代別にみると、「歩車分離式信号機を交通事故多発交差点に増やした方が良い」と答えた人の割合は60代以上で、「歩車分離式信号機を駅前などの歩行者が多い交差点に増やした方が良い」と答えた人の割合は40代で、それぞれ高くなっている。

(年代別)



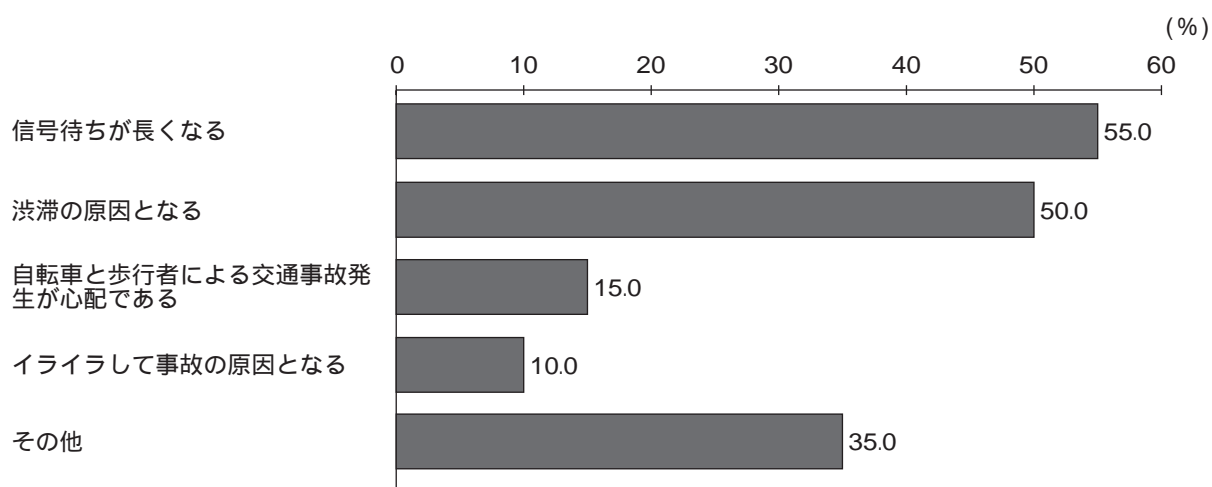
「歩車分離式信号機」について、「歩車分離式信号機を交通事故多発交差点に増やした方が良い」と「歩車分離式信号機を駅前などの歩行者が多い交差点に増やした方が良い」と答えた人を合わせると各年代で約9割と非常に高く、「歩車分離式信号機」の設置を望む人が多いことがわかります。

今後も県内の実態を把握して「歩行者分離式信号機」の設置を推進していきます。

(愛知県警察本部交通部交通管制課)

<問11で、「歩車分離式信号機はいらない」と答えた方にお聞きします。>

問12 その理由は何ですか。(回答は2つ以内)



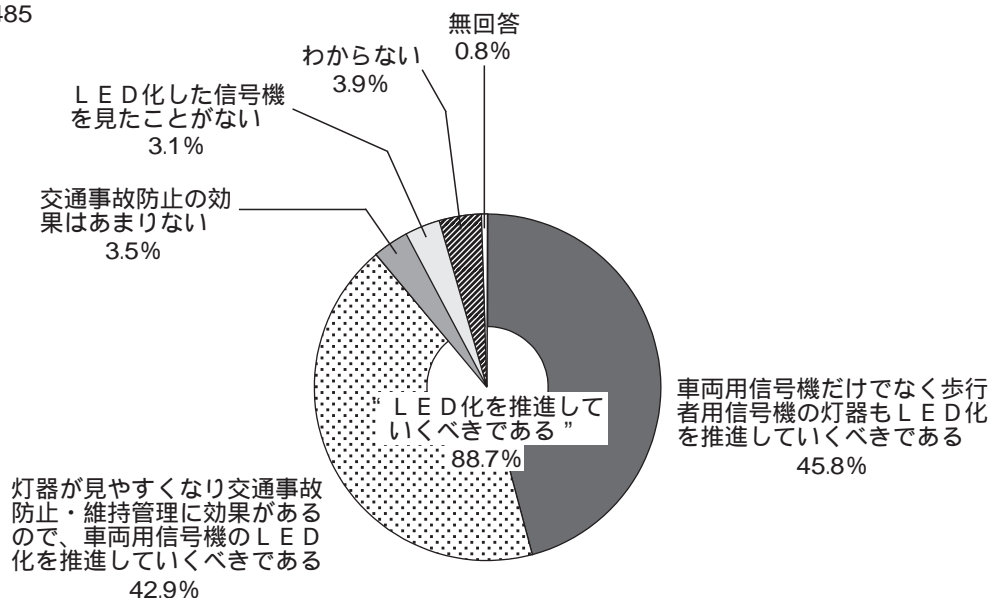
(N = 20、M.T. = 165.0%)

歩車分離式信号機はいらないと答えた人に、その理由は何かを尋ねたところ、「信号待ちが長くなる」が55.0%、「渋滞の原因となる」が50.0%、「自転車と歩行者による交通事故発生が心配である」が15.0%などとなっている。

問13 信号機の灯器にLED（発光ダイオードを使用して、通常の電球より視認性が極めて高く、消費電力が従来の約4分の1などの特徴がある）を使用した灯器に取り替えて、交通事故防止を図っています。

LED化した信号機の効果についてどう思いますか。（回答は1つ）

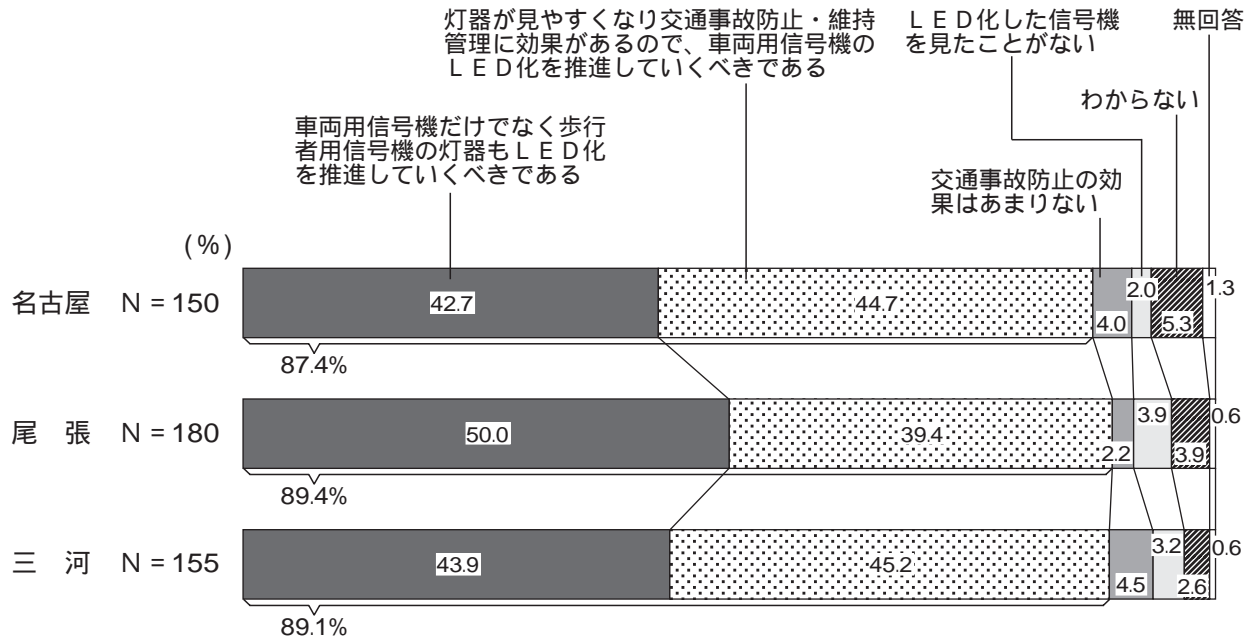
N = 485



LED化した信号機の効果についてどう思うかを尋ねたところ、「車両用信号機だけでなく歩行者用信号機の灯器もLED化を推進していくべきである」45.8%、「灯器が見やすくなり交通事故防止・維持管理に効果があるので、車両用信号機のLED化を推進していくべきである」42.9%で、合わせた「LED化を推進していくべきである」が88.7%となっている。

地域別にみると、「車両用信号機だけでなく歩行者用信号機の灯器もLED化を推進していくべきである」と答えた人の割合は尾張地域で高くなっている。

(地域別)



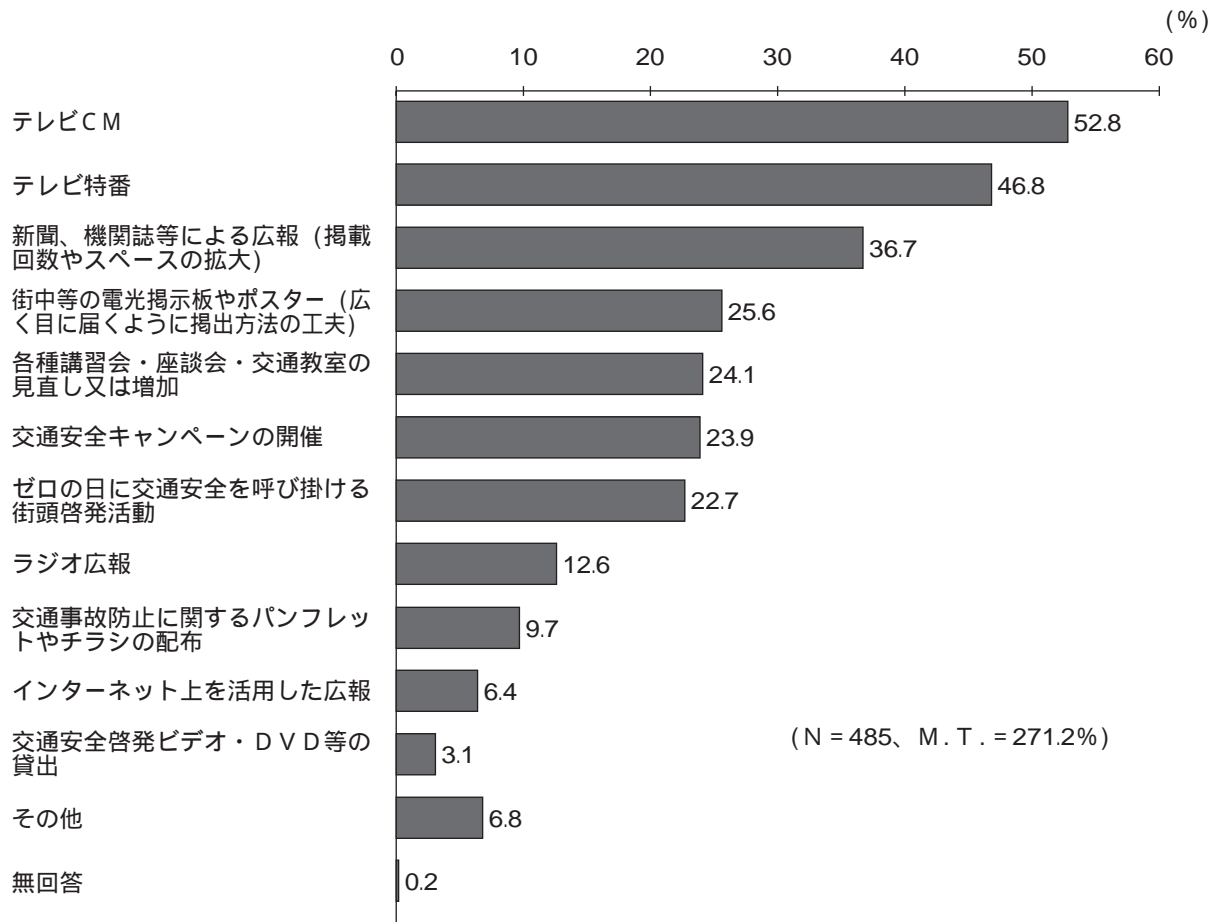
LED化した信号機の効果について、「車両用信号機だけでなく歩行者用信号機の灯器もLED化を推進していくべきである」と「灯器が見やすくなり交通事故防止・維持管理に効果があるので、車両用信号機のLED化を推進していくべきである」を答えた人を合わせると、各地域で8割を超えており、LED化の推進を望む人が多いことがうかがわれます。

現在、国道1号や交通事故多発信号交差点を重点とした信号灯器のLED化を推進しています。

(愛知県警察本部交通部交通管制課)

6 広報啓発活動

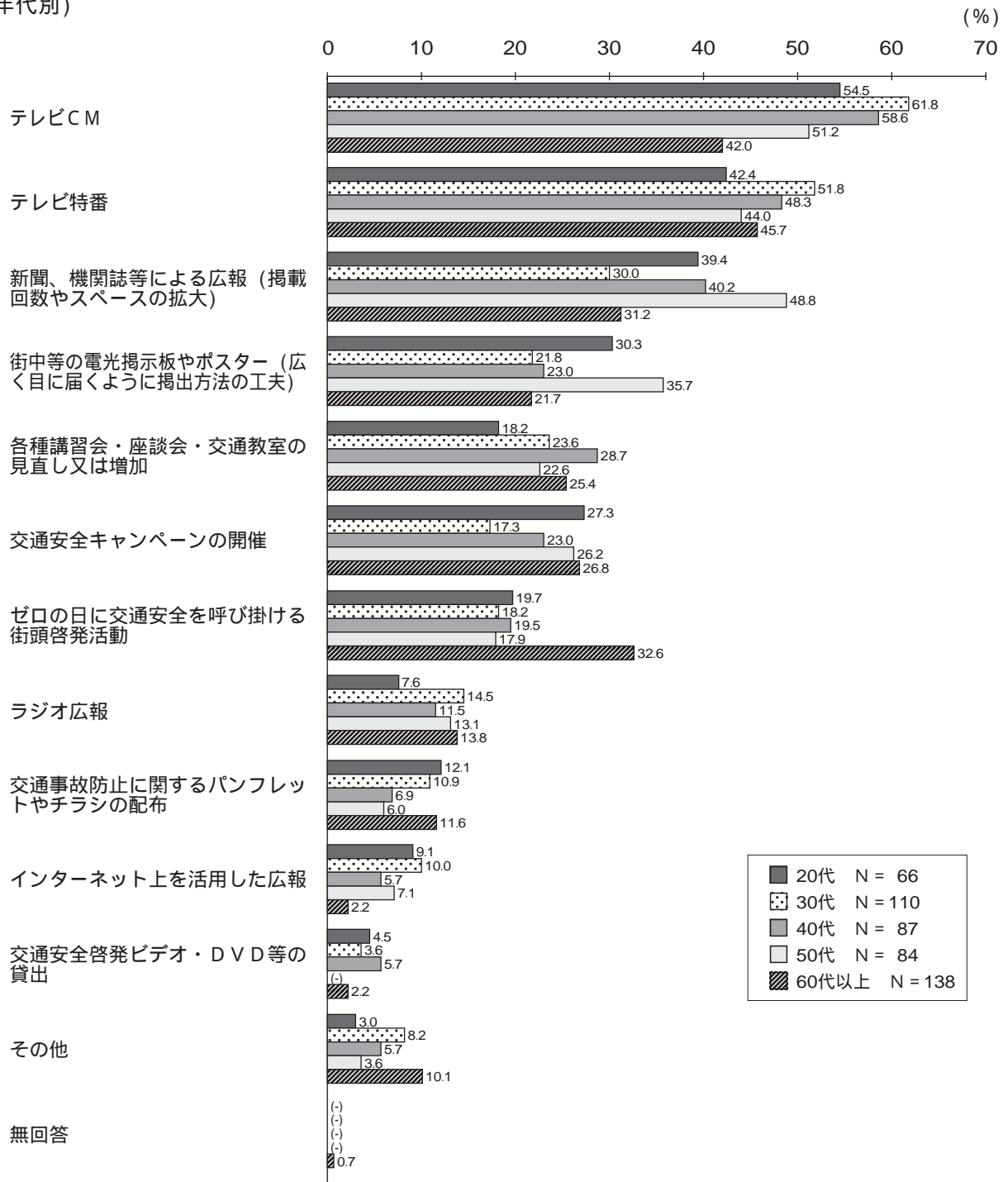
問14 交通事故の悲惨さを地域住民に伝え、交通安全意識の高揚をより一層図るには、どうすれば良いと思いますか。(回答は3つ以内)



交通事故の悲惨さを地域住民に伝え、交通安全意識の高揚をより一層図るには、どうすれば良いと思うかを尋ねたところ、「テレビCM」が52.8%、「テレビ特番」が46.8%、「新聞、機関誌等による広報(掲載回数やスペースの拡大)」が36.7%などとなっている。

年代別にみると、「テレビCM」と答えた人の割合は30代と40代で、「新聞、機関誌等による広報(掲載回数やスペースの拡大)」と答えた人の割合は50代で、「ゼロの日に交通安全を呼び掛ける街頭啓発活動」と答えた人の割合は60代以上で、それぞれ高くなっている。

(年代別)



交通事故の悲惨さを地域住民に伝え、交通安全意識の高揚をより一層図る方法として、「テレビCM」「テレビ特番」による広報啓発活動が良いと答えた人の割合が、各年代で4割を超えています。

県民の皆さんの交通安全意識をより一層高揚させるためのテレビCMやテレビ特番の制作を検討していきます。

なお、6月11日(月)から交通事故防止CM、7月11日(水)から飲酒運転根絶CMを放映しています。

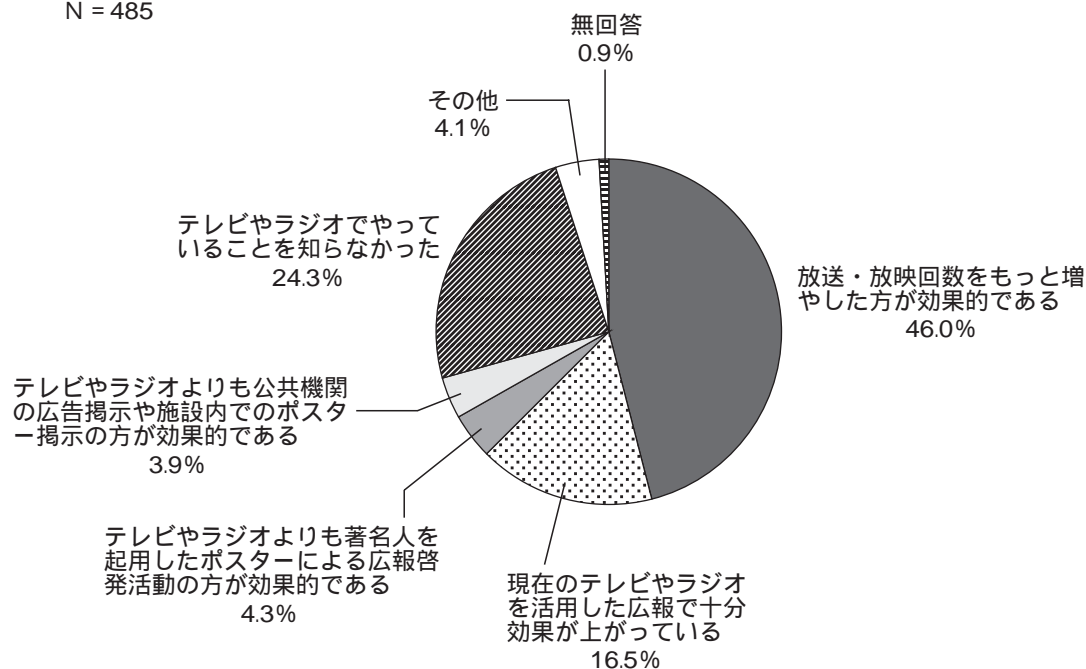
(愛知県警察本部交通部交通総務課)

問15 6月から民放テレビ5局で交通事故防止「命の交差点」篇と7月から飲酒運転の根絶「一杯のビール」をテーマとした15秒CMの放映や民放ラジオ5局統一キャンペーンの展開をして、悲惨な交通事故を身近な問題として意識してもらい、交通安全に対する意識の高揚を図る広報啓発活動を推進しています。

このようなテレビCMやラジオによる広報啓発活動の効果についてどう思いますか。

(回答は1つ)

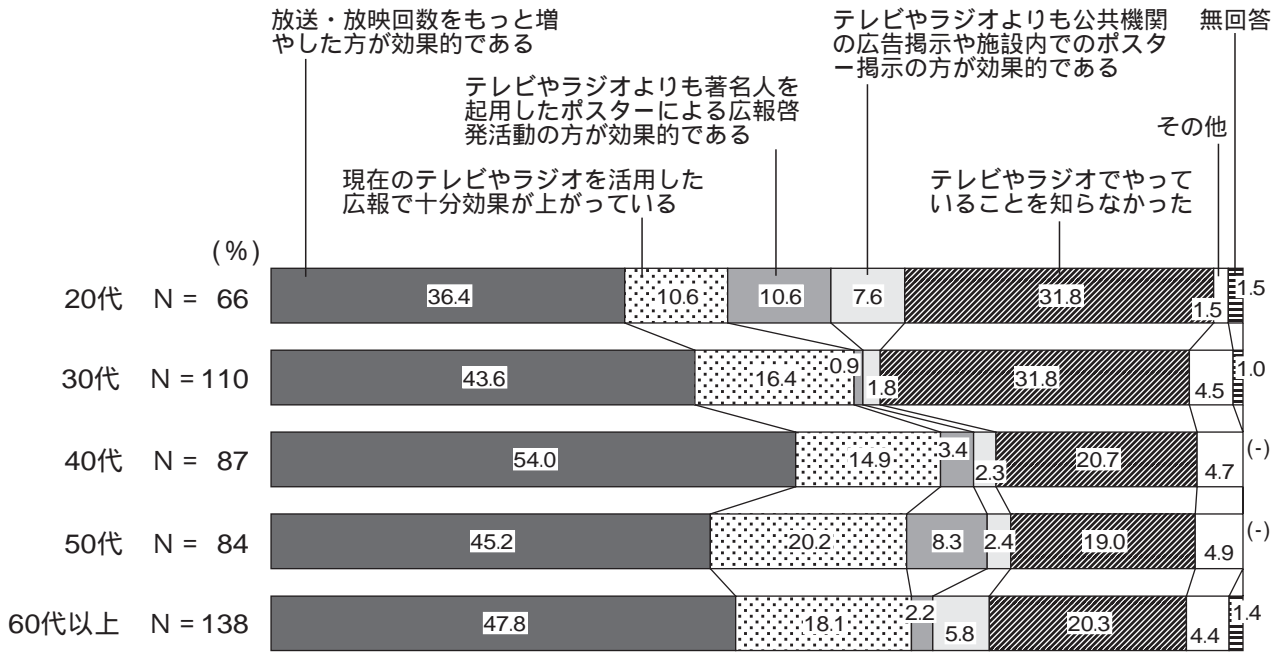
N = 485



テレビCMやラジオによる広報啓発活動の効果についてどう思うかを尋ねたところ、「放送・放映回数をもっと増やした方が効果的である」が46.0%、「現在のテレビやラジオを活用した広報で十分効果が上がっている」が16.5%などとなっている。また、「テレビやラジオでやっていることを知らなかった」が24.3%となっている。

年代別にみると、「放送・放映回数をもっと増やした方が効果的である」と答えた人の割合は40代で、「テレビやラジオでやっていることを知らなかった」と答えた人の割合は20代と30代で、それぞれ高くなっている。

(年代別)



テレビCMやラジオによる広報啓発活動について、「放送・放映回数をもっと増やした方が効果的である」と答えた人の割合が46.0%と高かった反面、年齢別では、20代、30代で「テレビやラジオでやっていることを知らなかった」と答えた人が約3割となっています。

アンケート結果を踏まえて、今後、制作するテレビCMについては、広く県民に周知してもらうため、放映回数、放映時間帯等を検討していきます。 (愛知県警察本部交通部交通総務課)

7 自由意見

交通安全について、ご意見・ご提案等があれば、自由にお書きください。

交通安全について、自由に意見を記入していただいたところ、369件の意見が寄せられた。それらが大別すると次表のとおりであり、以下、その意見の要旨をいくつか例示した。

項 目	件 数
(1) 高齢者に対する交通安全・広報啓発活動等	3 2
(2) 駐車監視員による活動	1 7
(3) 交通規制	1 0
(4) 信号機	1 8
(5) 広報啓発活動・交通安全教育	6 7
(6) 交通指導取締り	2 5
(7) 運転免許更新時等における講習	1 1
(8) 道路環境の整備	2 9
(9) 自転車利用者	1 8
(10) 罰則強化等	2 1
(11) その他	1 2 1
合 計	3 6 9

(1) 高齢者に対する交通安全・広報啓発活動等

高齢者は、自分自身の反射神経・思考などが低下していることを自覚すべきだと思う。自分だけはまだまだと思っていることの落とし穴を知るべき。私は、まわりの人たちとの話し合いにより自覚を促している。

現在70歳で、徐々に身体機能は低下し、瞬発的な反応が鈍くなっていることは認めているが、日常の歩行時にはすっかりそのことを忘れて行動してしまう。高齢者の意識の啓発も勿論だが、ドライバーに対する啓発も併せて一層の努力を希望する。

幼児や高齢者の交通安全教室を町内単位で実施してもらおうとよい。高齢者の方は、自転車に目立つものをつけ、夜や雨の日は明るい色の服装を着て、持ち物も何か明るく目立つものを使用したらよい。

車を運転しない高齢者が被害に遭う件数が多いと思う。高齢者には座学だけではなく、実際に「ヒヤリ」「ハッと」体験をさせたほうがよい。

高齢者が横断歩道以外で道路を渡る姿をよく見ていつも危ないと思っている。身体機能の変化が

実体験できる教室は、本人の意識付けにいいと思う。

高齢化が進んでいるので、もっと高齢者に対する活動・PRは必要だと思う。お年寄りはよくテレビを見ているので、テレビのPRが一番よいと思う。

高齢者の事故の増加は、高齢者の交通マナーの悪さも影響していると思う。実際に車を運転していて、平気な顔をして無理な横断や危険な自転車運転をする高齢者に遭遇したことが幾度かある。交通マナー向上には、高齢者にも意識改革が必要だと思う。

お年寄りの多くは、加齢に伴う身体機能の低下を実感していないと思う。家の中におじいちゃん、おばあちゃんがない家庭が多い昨今、何らかの形で「高齢者の実態」をわかってもらう必要があるのではないか。

(2) 駐車監視員による活動

駐車監視員による違法駐車取締りで明らかに違法駐車が減り、車の運転がしやすくなったと実感している。

駐車監視員の地域拡大を至急してもらいたいと思う。

違法駐車の間接委託については、取り締まる地域の集中を見直す必要があると思う。

(3) 交通規制

「自転車も止まれ」反射材シールは大変よいと思う。学校でも子どもたちに知らせていくと危険から避けられると思う。

生活道路への車の通行・進入を極力減少させるような対策が必要である。

生活道路区域での午前7時から午前9時、午後1時から午後3時までの通行制限をもっと地域的に増やすことはできないか。

道路上の線や横断歩道が薄くなっていたり、消えてしまっているところを多く見かける。道路標識も傾いていて何の記号なのか判別できないものも多く見かける。交通事故が多い原因のひとつではないか。

道路標識の小型化・高輝度化については、そもそも標識を見ていない人がいるのではないか。何十年も前に免許を取った年輩の方は、標識の意味を忘れているのかと思うことがある。進入禁止や右折禁止にも関わらず通っていく車があり、そういう場所は、標識でなく、大きい文字で「右折禁止」といったすぐにわかる標示にした方がいいのではないか。

左右に建物があり、見通しが悪い交差点で、標識もないところだと自転車や歩行者とぶつかりそうになり危険なので、歩道の色を変えたり、ミラーをつけたり、止まれの標識を増やすなどの対策をしてほしい。

(4) 信号機

歩車分離式信号機の導入は、歩行者にもドライバーにも安全な仕組みであり、多くの地域で導入してほしいと思う。

信号機について都心には、あと何秒で赤信号に変わるという表示ができるものがあるが、都心以外に広い道路にも設置してほしい。

信号機の中には、はっきりした心地よい声で、横断歩道を渡る時に音声が流れるものがあるが、渡る時に耳で聞き、目で信号を見て渡るのが一番よいと思う。子どもや目、耳が衰えている方にも適している。

時間帯によって点滅信号による交差点があるが、道路の実情に応じた時間帯を考えてほしい。

横断歩道について、最近、高齢者で足の不自由な方が多くなり、横断時間が短いため、時間内に渡りきれない場面をよく見かける。車のスピードアップのほうに力を入れるのではなく、歩行者の方に目を向けてほしい。

(5) 広報啓発活動・交通安全教育

「命の交差点」のCMで私が目撃した事故現場があり、その事故で亡くなられた方の写真や事故当日の状況が流れ、他人事じゃない気がした。このようなCMをもっと多く流すべきだと思う。

実際のところ交通安全は、自分自身、家族、友達などが交通事故に遭わないとなかなか意識することが難しいかも知れない。なるべく広い年齢の人が関心を持てるCMや番組などを増やし、交通事故の悲惨さを伝えていくことが重要であると思う。

広報啓発活動は、もっと持続的にインパクトがある交通安全PRをしていかななくては効果がないように思う。以前「ビール一杯30万円」というポスターがあったが、とても印象に残っているのと同時に、飲酒運転をする人が激減したというニュースを見た。すべての人が交通安全の意識を高めるといった広報啓発活動を今後も期待している。

車に携わる全ての人に対して、交通事故の悲惨さや残された遺族の悲しみを伝えるパンフレットなどを販売所などで配布すれば、多くの人たちに訴えられると思う。

交通安全は、行政によるPRや罰則強化なども大切であるが、小・中・高校生にモニターになってもらい、期間限定でなく周期的に啓蒙活動を展開すれば意識向上につながり、小さな子どもたちから教育・指導を徹底させておけば将来的にピラミットの底辺はより大きくなっていく。よって、交通安全モニター校を設置してみてもどうか。

愛知県庁の前で黄色の服を着た方達が、交通事故防止を呼びかける運動をしているのを見た。地道なことではあるが、テレビ・ラジオ等で呼びかけるよりも人がその場で呼びかけるほうが、効果があると私は考える。効率がよいとは言いがたいが、人の心に訴えかけることができるのは人しかない。

酒で人生を変える悲惨さをPRする。交通事故のマイナス面をインパクトに教えよ。自分だけは大丈夫という意識の改革を。

交通安全は身近な問題であるにも関わらず、なかなか家庭では話し合われぬのが現実。私の家では、飲酒運転を絶対しないように夫が帰るときには多めにお金を渡しタクシーで帰るかホテルに泊まってくるようにしている。そのほか、飲む前に「飲んだら、乗ってはだめだよ。」と毎回言っている。飲酒運転は「事故ではなく犯罪」である。交通安全について家庭で話し合われるように子ども達に教育していくのが良いと思う。子どもに言われれば親も交通安全についてもっと意識を向けるようになるのではないか。

飲酒運転は、絶対にいけないので酒気があれば厳しく対応すべきだ。運転する人の意識に問題があると思う。酒造メーカー側からもレッテルや説明書き、段ボールなどにも交通安全を呼びかける印刷があってもよいと思う。提供する側の意識も大切。

小学生などに対して子どもの飛び出しの恐さをもっと知らせるため、実際に車をぶつけるようなシミュレーションがあるといい。

もっとターゲットを絞った広報活動をしていくべきである。自転車販売店に交通法規に関するパンフレットを置き、自転車購入者に交付すべきである。

免許更新時講習で内容のよいVTRがあるので、免許を持っていない方にも定期的に見ることが出来る機会が欲しいと思う。

(6) 交通指導取締り

交通取締りは、見通しのよいところや広い道路でスピードの取締りをするよりも、街中で暴走運転する者の取締り強化を是非お願いしたい。

運転しながら携帯電話を使用している人やテレビを見て運転している人がとても目立つ。もっと厳しく取り締まってほしい。

スピード違反の取締り強化やカメラ設置による取締りの拡充。

信号無視や無灯火の自転車を特に厳しく取り締まる。

(7) 運転免許更新時等における講習

最近、免許の更新で「違反者講習」を受け、高齢者の事故が多いことなど事故実態を知った。こういった講習を受けると毎回安全運転を心掛けようという気持ちになる。

運転免許の更新時講習で、ビデオを見る以外に高齢者の行動特徴などを盛り込んだらどうか。

(8) 道路環境の整備

自動車優先の道路整備から自転車優先の道路整備を進めてほしい。自転車で走ってみると自動車が優先すぎるのがわかる。

歩行者、特に高齢者や幼児等社会的弱者から交通事故を防ぐには、歩道・自転車道を整備して、車道と分離することが一番有効であると思う。

歩道のない道が多すぎる。なるべく道の端を歩くようにしているが、溝や下水道の蓋などでベビーカーがひっかかり歩きにくい。ご高齢の人が押している手押し車だときっと歩きにくいと思う。歩道にするのは無理でも、端が歩きやすい道にせよと交通安全につながると思う。

歩道がない道路を小学生が通学路として利用しているので危ない。

交差点以外で道路を横断する人をよく見かけ危ないので、ガードレールの整備が望まれる。

人のマナーも大切だが、道路自体が危険なところがたくさんある。歩道の整備（ガードレールや細い道での安全な歩道の確保など）や標識の改善（見えにくい・壊れている）などについても改善してほしいと思う。

見通しの悪い曲がり角のミラー設置と暗い場所での街灯の設置も有効な手段と考える。

歩道や分離帯の草刈り、枝払いをこまめにしてほしい。

(9) 自転車利用者

愛知県は交通事故が多いので、本当に減ってほしいと思う。自転車を利用しているが、自転車の正しい乗り方や規則を正直分かっていないかもしれない。命に関わることなので、もっと理解と説明が必要だと思う。

車を運転していて一番危険だと感じるのは、自転車運転の人である。自転車も運転ルールが決まっているのにそれをよく知らない人が多いと思うので、自転車の運転ルールをはっきりと多くの人に知ってもらおう試みをしてもらいたい。

小学生の娘がいて、学校の交通当番時に、通学団の列に突っ込む自転車を見てヒヤリとしたことがある。高齢者、大人、子どものほとんどの人達が、自転車のルールを知らないのではと感じた。自転車は、歩道を走って当たり前、傘をさして当たり前と思っている気がしてならない。もっと、自転車のルールについて広報を強化した方が良いのでは。

自転車においても歩行者と同様に権利意識を主張して「軽車両」としての意識の欠落が甚だしく感じられる。事故の場合、自動車に対して「交通弱者」とのイメージがあり、それを全面に被害者意識が強いのであろう。

(10) 罰則強化等

飲酒運転の罰則は、もっともっと厳しくしないとなかなか愛知県の交通事故は減らないと思う。

交通事故を起こした加害者に対する罰が軽すぎると思う。

自動車による事故を繰り返す人に対する罰則を強化すべき。

違反者の点数を増やして免許停止期間を延長する。

高齢者の自転車使用の年齢制限。免許制度の導入。

フォグランプの義務化。

(11) その他

交通事故死全国ワースト1位ということは恥ずべきことなので、何とか「安全で安心できる愛知県」へ変わらなければいけない。

私にも祖父母がいるが、一緒に歩いていると私には見えているのに高齢者には見えていなかったり、見つけることが遅いなど動作が鈍くなっていることが分かる。いつかは誰もが高齢者になることを若いときから知り、優しいゆとりの心で譲る気持ちで接すれば事故も防げると思う。

違反や事故を起こす原因はわかっているけど“少しだけならいいだろう”という気持ちがあるため事故は減らないのでは。そのような気持ちを持った人達にどう「ルールを守りましょう」という気持ちに変えていくかがテーマだと思う。大人が子、孫に対し、手本を見せていくことで伝えていくことをまずしなければいけないと痛感している。子どもに対して恥じない大人でありたい。

赤信号無視が非常に多い。特に、若い方に多いように思う。信号に限らずルールを守るという遵法精神の欠如からくるものと思う。学校や家庭で、もう一度「決められたことは守る」という基本的なことを再教育する必要があると思う。

運転する人、自転車、歩く人も相互に交通ルールを守り、お互いの相手を思いやる気持ちを持つ以外ないのでは。そのためには、小学校より交通ルール・マナーを教える必要がある。その子が無事、大人になるためにも。

交通安全は自分自身のことなので、県民ひとり一人が自覚を持って行動すれば事故が減る。官に頼らず各家庭で子どもからお年寄りまで自分で身を守る。車を運転する時は、ナイフを振り回しているようなのだと自覚すれば、行動がセーブされると思うし、自分には関係ないと思わない。個々の自覚が一番の事故防止。元気な愛知が交通事故も多いのが残念。

私は、車を運転するとき「ヨシ、左右ヨシ」と声を出して安全運転をしている。

横断歩道を渡る意思表示で、以前、子ども達は、手を挙げたり、旗をあげていたが、最近、全くそういうアクションがなくなったように思う。

様々な体験ができる交通公園を作り、遊びながら楽しく体験させる。

車の量を減らすため、公共交通機関をもっと利用するように促すべきである。

私は以前に飲酒運転の車に追突されてけがをしたことがある。その時、私は後部座席に乗りシートベルトを締めていなかったため、家族の中で一番ひどいけがをしてしまったので、後部座席のシートベルト着用は必要だと痛感した。

Ⅲ 質問と回答

1 高齢者に対する交通事故防止対策

問1 昨年、高齢者の交通事故死者は全事故死者の約4割を占め、そのうち約7割が歩行中と自転車利用中に発生しました。

高齢者が被害者となる事故を抑止するためには、交通指導取締りを強化する以外にどのような対策が効果的だと思いますか。(回答は3つ以内)

	全体	男性	女性	名古屋	尾張	三河	20代	30代	40代	50代	60代以上
総数	485	236	249	150	180	155	66	110	87	84	138
テレビ・ラジオによる広報啓発活動	27.4	24.6	30.1	28.7	48.3	31.6	22.7	20.0	28.7	27.4	34.8
交通安全教室・講習の拡充(参加・体験型教室を増やす等)	45.8	46.2	45.4	40.0	50.0	46.5	34.8	43.6	48.3	53.6	46.4
反射材(自動車のライト等により反射するもの)の普及促進	58.8	57.6	59.8	60.7	58.3	57.4	63.6	60.0	60.9	54.8	56.5
高齢者世帯への訪問活動による交通安全教育の強化	29.9	27.1	32.5	25.3	30.6	33.5	39.4	26.4	29.9	36.9	23.9
高齢者の安全を確保するための交通安全施設の整備	33.4	41.1	26.1	31.3	37.8	30.3	24.2	38.2	25.3	29.8	41.3
若者や一般成人に対する交通安全教育(高齢者の特性などを理解させる内容)	59.2	58.1	60.2	60.0	60.6	56.8	69.7	51.8	59.8	60.7	58.7
その他	10.1	14.0	6.4	11.3	6.1	13.5	9.1	10.0	11.5	6.0	12.3
無回答	0.2	(-)	0.4	0.7	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	0.7

< 問1で「反射材（自動車のライト等により反射するもの）の普及促進」と答えた方にお聞きします。>

問2 夜間の交通事故を防ぐには、白や黄色などの明るく目立つ服装や反射材を身につけ、ドライバーに自分の存在をアピールすることが大切です。

既に活用している又は活用したい反射材用品は、どのようなものだと思いますか。

(回答は3つ以内)

	全体	男性	女性	名古屋	尾張	三河	20代	30代	40代	50代	60代以上
総数	285	136	149	91	105	89	42	66	53	46	78
靴用反射材（通勤・通学、ランニング用等）	46.0	44.1	47.7	42.9	45.7	49.4	28.6	53.0	45.3	50.0	47.4
リストバンド（腕や靴等に巻き付けて活用）	32.3	29.4	34.9	40.7	33.3	22.5	21.4	30.3	41.5	37.0	30.8
電池で光を点滅する自発光式反射材（自転車、ベルトに付けて活用）	34.7	36.8	32.9	38.5	35.2	30.3	45.2	34.8	28.3	23.9	39.7
反射材仕立ての買い物袋（布製のトートバッグ。リサイクルで使用可能）	18.2	15.4	20.8	25.3	16.2	13.5	23.8	18.2	11.3	19.6	19.2
反射材仕立ての傘	18.2	13.2	22.8	19.8	21.0	13.5	19.0	18.2	30.2	19.6	9.0
反射材仕立ての帽子	18.9	20.6	17.4	18.7	18.1	20.2	11.9	15.2	18.9	21.7	24.4
反射材仕立てのキーホルダー・携帯ストラップ	4.2	3.7	4.7	4.4	5.7	2.2	14.3	4.5	1.9	2.2	1.3
反射材仕立てのタスキ	23.9	27.9	20.1	14.3	20.0	38.2	19.0	18.2	24.5	34.8	24.4
反射材仕立てのコート、ウエアー等の衣類	23.5	28.7	18.8	15.4	21.9	33.7	11.9	18.2	28.3	34.8	24.4
自転車の車輪に取りつける反射リフレクター	54.4	52.9	55.7	53.8	58.1	50.6	59.5	59.1	49.1	47.8	55.1
その他	2.5	2.9	2.0	1.1	3.8	2.2	4.8	(-)	3.8	(-)	3.8
無回答	0.4	0.7	(-)	1.1	(-)	(-)	2.4	(-)	(-)	(-)	(-)

問3 高齢者が交通事故に遭わないための高齢者向けの交通安全教育・啓発活動で効果的だと思うものは、どのような活動だと思いますか。(回答は3つ以内)

	全体	男性	女性	名古屋	尾張	三河	20代	30代	40代	50代	60代以上
総数	485	236	249	150	180	155	66	110	87	84	138
交通安全教室などイベント開催の時に、寸劇をとり入れた交通安全啓発活動	29.9	29.2	30.5	34.7	27.8	27.7	28.8	22.7	27.6	36.9	33.3
身体機能の変化(加齢に伴う反射神経等の衰え)が実体験できる参加・体験型の交通安全教室の拡充	77.9	78.0	77.9	77.3	78.3	78.1	74.2	73.6	78.2	77.4	83.3
交通安全講話の拡充	22.9	22.0	23.7	21.3	20.0	27.7	21.2	14.5	26.4	25.0	26.8
高齢者世帯への訪問活動による交通安全啓発活動	31.3	31.8	30.9	28.0	32.2	33.5	40.9	29.1	26.4	41.7	25.4
高齢者が集う場所(ゲートボール場、理容院・美容院、コンビニなど)での交通安全啓発活動	63.3	61.9	64.7	60.7	67.8	60.6	63.6	62.7	69.0	61.9	60.9
その他	9.5	9.7	9.2	4.7	11.1	12.3	4.5	8.2	10.3	7.1	13.8
わからない	1.9	2.1	1.6	2.0	2.2	1.3	(-)	3.6	2.3	1.2	1.4
無回答	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)

2 飲酒運転等の罰則強化

問4 本年6月12日から人身交通事故を起こした方に対する法律が変わり(自動車運転過失致死傷罪の新設)、さらに6月20日に飲酒運転者がより一層厳しく処罰されることを内容とした改正道路交通法が公布されました。

このような厳罰化に対してどのように思いますか。(回答は1つ)

	全体	男性	女性	名古屋	尾張	三河	20代	30代	40代	50代	60代以上
総数	485	236	249	150	180	155	66	110	87	84	138
遺族などの関係者のことを考えたら当然である	59.4	53.8	64.7	60.7	58.3	59.4	60.6	62.7	59.8	60.7	55.1
もっと罰則を厳しくした方がよい	35.1	41.1	29.3	34.7	36.7	33.5	31.8	30.9	37.9	29.8	41.3
厳罰化よりも罰則を緩和した方がよい	1.8	1.7	2.0	0.7	(-)	5.2	3.0	0.9	(-)	4.8	1.4
わからない	3.5	3.4	3.6	3.3	5.0	1.9	4.6	5.5	2.3	4.7	1.4
無回答	0.2	(-)	0.4	0.6	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	0.8

問5 道路交通法は、主に次のような点が改正されましたが、あなたはこのことをご存知でしたか。

(回答は1つ)

	全体	男性	女性	名古屋	尾張	三河	20代	30代	40代	50代	60代以上
総数	485	236	249	150	180	155	66	110	87	84	138
改正されたことやその内容も概ね知っている	56.3	58.5	54.2	60.0	59.4	49.0	62.1	41.8	54.0	59.5	64.5
改正されたことは知っているけど内容は知らない	33.2	28.4	37.8	32.0	32.2	35.5	24.2	45.5	32.2	34.5	27.5
改正されたことを知らない	10.1	12.3	8.0	6.7	8.4	15.5	13.7	12.7	13.8	6.0	6.5
無回答	0.4	0.8	(-)	1.3	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	1.5

<問5で「改正されたことは知っているけど内容は知らない」、「改正されたことを知らない」と答えた方にお聞きします。>

問6 改正内容を広く県民の皆さんに周知するにはどのような方法が良いと思いますか。

(回答は3つ以内)

	全体	男性	女性	名古屋	尾張	三河	20代	30代	40代	50代	60代以上
総数	210	96	114	58	73	79	25	64	40	34	47
交通安全キャンペーン等の広報啓発活動	53.8	52.1	55.3	56.9	57.5	48.1	40.0	46.9	47.5	64.7	68.1
新聞・テレビによる広報	93.3	87.5	98.2	94.8	93.2	92.4	88.0	92.2	95.0	100.0	91.5
パンフレットやチラシの配布	58.1	67.7	50.0	56.9	61.6	55.7	56.0	48.4	62.5	61.8	66.0
ホームページによる掲示	11.4	11.5	11.4	10.3	12.3	11.4	16.0	12.5	12.5	(-)	14.9
その他	7.1	7.3	7.0	5.2	8.2	7.6	4.0	9.4	15.0	(-)	4.3
わからない	0.5	1.0	(-)	(-)	(-)	1.3	(-)	1.6	(-)	(-)	(-)
無回答	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)

3 違法駐車取締り

問7 昨年6月から民間委託された駐車監視員による活動（2人一組による違法駐車車両に対する確認標章の貼付）について、どのように思いますか。

なお、現在、駐車監視員は名古屋市内のみで活動しています。（回答は1つ）

	全体	男性	女性	名古屋	尾張	三河	20代	30代	40代	50代	60代以上
総数	485	236	249	150	180	155	66	110	87	84	138
駐車監視員を増やして活動を強化すべきである	46.6	54.2	39.4	48.7	47.8	43.2	45.5	36.4	49.4	45.2	54.3
現在のままで良い	26.8	22.0	31.3	31.3	24.4	25.2	21.2	37.3	27.6	23.8	22.5
もっと駐車監視員を減らすべきである	1.6	2.1	1.2	3.3	1.1	0.5	1.5	2.7	(-)	1.2	2.2
駐車監視員による貼付ではなく、警察官が貼付した方が良い	15.3	13.6	16.9	8.7	17.2	19.4	19.7	13.6	13.8	21.4	11.6
その他	6.2	5.5	6.8	8.0	4.4	6.5	3.0	6.4	6.9	7.1	6.5
駐車監視員の活動について知らない	3.5	2.6	4.4	(-)	5.1	5.2	9.1	3.6	2.3	1.3	2.9
無回答	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)

< 問7で「駐車監視員を増やして活動を強化すべきである」と答えた方にお聞きします。 >

問8 どのような活動を強化したらよいと思いますか。（回答は3つ以内）

	全体	男性	女性	名古屋	尾張	三河	20代	30代	40代	50代	60代以上
総数	226	128	98	73	86	67	30	40	43	38	75
駐車監視員の導入地域の拡大（名古屋市外への拡大）	69.5	71.9	66.3	52.1	77.9	77.6	63.3	70.0	72.1	71.1	69.3
駐車監視員の活動区域の拡大	54.9	63.3	43.9	64.4	52.3	47.8	46.7	47.5	62.8	57.9	56.0
悪質・危険な違法駐車車両に対する重点的な取締り	81.9	82.8	80.6	80.8	81.4	83.6	73.3	87.5	79.1	81.6	84.0
夜間・深夜時間帯の活動の強化	43.8	42.2	45.9	45.2	45.3	40.3	63.3	35.0	37.2	47.4	42.7
その他	4.0	4.7	3.1	6.8	2.3	3.0	16.7	2.5	4.7	2.6	(-)
わからない	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
無回答	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)

4 交通規制

問9 生活道路の一時停止標識柱に「自転車も止まれ」反射材シール（オレンジ色の反射材に黒色の文字）を9月末までに貼付し、自転車の交通事故防止を図っていきます。こうした対策についてどう思いますか。（回答は1つ）

	全体	男性	女性	名古屋	尾張	三河	20代	30代	40代	50代	60代以上
総数	485	236	249	150	180	155	66	110	87	84	138
自転車事故防止に効果がある	24.3	22.5	26.1	20.7	25.0	27.1	21.2	13.6	23.0	28.6	32.6
路面標示を鮮明にするなどの対策と併せて実施すると効果がある	42.5	37.7	47.0	44.0	41.7	41.9	28.8	43.6	44.8	41.7	47.1
色合い、表示された文字などが見づらくあまり効果はない	24.9	29.7	20.5	28.7	26.7	19.4	39.4	38.2	27.6	19.0	9.4
わからない	7.9	9.7	6.0	6.0	6.6	11.0	10.6	4.6	4.6	9.5	10.1
無回答	0.4	0.4	0.4	0.6	(-)	0.6	(-)	(-)	(-)	1.2	0.8

問10 通行車両が道路標識を損傷したり、道路標識と接触して方向が変わったりしている現状を改善するため、道路標識の大きさを直径60センチメートルから直径40センチメートルに小さくし、更に、高輝度（反射しやすく見やすい）の道路標識の設置を推進しています。

道路標識の小型化・高輝度化を推進することについて、どのように思いますか。（回答は1つ）

	全体	男性	女性	名古屋	尾張	三河	20代	30代	40代	50代	60代以上
総数	485	236	249	150	180	155	66	110	87	84	138
小さくても見やすくなるならば、小型化・高輝度化を進めた方が良い	56.3	55.5	57.0	47.3	61.1	59.4	42.4	50.0	58.6	58.3	65.2
直径60センチメートルの標準の標識の方が、大きくて見やすいので現状のままで良い	29.3	30.5	28.1	38.0	25.6	25.2	34.8	28.2	31.0	27.4	27.5
どちらも変わらない	6.8	6.8	6.8	8.7	5.6	6.4	9.2	12.7	3.5	7.2	3.0
わからない	7.4	7.2	7.7	6.0	7.7	8.4	13.6	9.1	5.7	7.1	4.3
無回答	0.2	(-)	0.4	(-)	(-)	0.6	(-)	(-)	1.2	(-)	(-)

5 信号機

問11 信号交差点内での横断歩行者事故を防止するため、歩行者が横断するとき、通行車両用の信号機を全て赤色にする「歩車分離式信号機」が設置されている交差点があります。

このような「歩車分離式信号機」についてどう思いますか。(回答は1つ)

	全体	男性	女性	名古屋	尾張	三河	20代	30代	40代	50代	60代以上
総数	485	236	249	150	180	155	66	110	87	84	138
歩車分離式信号機を駅前などの歩行者が多い交差点に増やした方が良い	42.7	44.5	41.0	38.0	46.7	42.6	42.4	43.6	49.4	45.2	36.2
歩車分離式信号機を交通事故多発交差点に増やした方が良い	48.2	46.6	49.8	52.7	45.0	47.7	47.0	46.4	39.1	48.8	55.8
歩車分離式信号機はいらない	4.1	5.1	3.2	5.3	5.0	2.0	3.0	3.6	9.2	1.2	3.6
わからない	4.8	3.4	6.0	4.0	2.7	7.7	7.6	6.4	2.3	4.8	3.6
無回答	0.2	0.4	(-)	(-)	0.6	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	0.8

< 問11で、「歩車分離式信号機はいらない」と答えた方にお聞きします。 >

問12 その理由は何ですか。(回答は2つ以内)

	全体	男性	女性	名古屋	尾張	三河	20代	30代	40代	50代	60代以上
総数	20	12	8	8	9	3	2	4	8	1	5
信号待ちが長くなる	55.0	75.0	25.0	62.5	44.4	66.7	(-)	50.0	50.0	100.0	80.0
イライラして事故の原因となる	10.0	16.7	(-)	12.5	(-)	33.3	(-)	(-)	12.5	(-)	20.0
渋滞の原因となる	50.0	50.0	50.0	50.0	55.6	33.3	50.0	50.0	62.5	(-)	40.0
自転車と歩行者による交通事故発生が心配である	15.0	8.3	25.0	12.5	22.2	(-)	50.0	(-)	12.5	(-)	20.0
その他	35.0	41.7	25.0	12.5	44.4	66.7	50.0	50.0	37.5	(-)	20.0
無回答	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)

問13 信号機の灯器にLED（発光ダイオードを使用して、通常の電球より視認性が極めて高く、消費電力が従来の約4分の1などの特徴がある）を使用した灯器に取り替えて、交通事故防止を図っています。

LED化した信号機の効果についてどう思いますか。（回答は1つ）

	全体	男性	女性	名古屋	尾張	三河	20代	30代	40代	50代	60代以上
総数	485	236	249	150	180	155	66	110	87	84	138
灯器が見やすくなり交通事故防止・維持管理に効果があるので、車両用信号機のLED化を推進していくべきである	42.9	45.3	40.6	44.7	39.4	45.2	53.0	37.3	43.7	39.3	44.2
車両用信号機だけでなく歩行者用信号機の灯器もLED化を推進していくべきである	45.8	45.8	45.8	42.7	50.0	43.9	37.9	51.8	48.3	52.4	39.1
交通事故防止の効果はあまりない	3.5	3.0	4.0	4.0	2.2	4.5	3.0	4.5	3.4	2.4	3.6
LED化した信号機を見たことがない	3.1	2.5	3.6	2.0	3.9	3.2	1.5	1.9	1.2	3.6	5.8
わからない	3.9	3.0	4.8	5.3	3.9	2.6	3.0	4.5	3.4	2.3	5.1
無回答	0.8	0.4	1.2	1.3	0.6	0.6	1.6	(-)	(-)	(-)	2.2

6 広報啓発活動

問14 交通事故の悲惨さを地域住民に伝え、交通安全意識の高揚をより一層図るには、どうすれば良いと思いますか。(回答は3つ以内)

	全体	男性	女性	名古屋	尾張	三河	20代	30代	40代	50代	60代以上
総数	485	236	249	150	180	155	66	110	87	84	138
テレビ特番	46.8	44.9	48.6	48.0	43.3	49.7	42.4	51.8	48.3	44.0	45.7
テレビCM	52.8	43.2	61.8	57.3	49.4	52.3	54.5	61.8	58.6	51.2	42.0
ラジオ広報	12.6	11.9	13.3	12.0	12.2	13.5	7.6	14.5	11.5	13.1	13.8
新聞、機関誌等による広報 (掲載回数やスペースの拡大)	36.7	33.1	40.2	35.3	33.9	41.3	39.4	30.0	40.2	48.8	31.2
インターネット上を活用した 広報	6.4	7.2	5.6	5.3	8.9	4.5	9.1	10.0	5.7	7.1	2.2
街中等の電光掲示板やポスター (広く目に届くように掲出方法の工夫)	25.6	25.4	25.7	27.3	26.1	23.2	30.3	21.8	23.0	35.7	21.7
交通事故防止に関するパンフレット やチラシの配布	9.7	12.3	7.2	10.0	11.1	7.7	12.1	10.9	6.9	6.0	11.6
交通安全キャンペーンの開催	23.9	25.0	22.9	30.7	23.3	18.1	27.3	17.3	23.0	26.2	26.8
ゼロの日交通安全を呼び掛ける 街頭啓発活動	22.7	22.5	22.9	17.3	27.2	22.6	19.7	18.2	19.5	17.9	32.6
各種講習会・座談会・交通教室の 見直し又は増加	24.1	28.8	19.7	16.0	28.3	27.1	18.2	23.6	28.7	22.6	25.4
交通安全啓発ビデオ・DVD等の 貸出	3.1	3.8	2.4	2.0	4.4	2.6	4.5	3.6	5.7	(-)	2.2
その他	6.8	9.3	4.4	6.7	6.1	7.7	3.0	8.2	5.7	3.6	10.1
無回答	0.2	(-)	0.4	0.7	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	0.7

問15 6月から民放テレビ5局で交通事故防止「命の交差点」篇と7月から飲酒運転の根絶「一杯のビール」をテーマとした15秒CMの放映や民放ラジオ5局統一キャンペーンの展開をして、悲惨な交通事故を身近な問題として意識してもらい、交通安全に対する意識の高揚を図る広報啓発活動を推進しています。

このようなテレビCMやラジオによる広報啓発活動の効果についてどう思いますか。(回答は1つ)

	全体	男性	女性	名古屋	尾張	三河	20代	30代	40代	50代	60代以上
総数	485	236	249	150	180	155	66	110	87	84	138
現在のテレビやラジオを活用した 広報で十分効果が上がっている	16.5	19.5	13.7	17.3	15.0	17.4	10.6	16.4	14.9	20.2	18.1
放送・放映回数をもっと増やした 方が効果的である	46.0	43.2	48.6	48.0	44.4	45.8	36.4	43.6	54.0	45.2	47.8
テレビやラジオよりも著名人を起用した ポスターによる広報啓発活動の方が 効果的である	4.3	3.8	4.8	2.7	6.1	3.9	10.6	0.9	3.4	8.3	2.2
テレビやラジオよりも公共機関の 広告掲示や施設内でのポスター 掲示の方が効果的である	3.9	3.4	4.4	4.0	5.6	1.9	7.6	1.8	2.3	2.4	5.8
その他	4.1	4.7	3.6	3.3	5.0	3.9	1.5	4.5	4.7	4.9	4.4
テレビやラジオでやっていることを 知らなかった	24.3	24.2	24.5	24.7	22.8	25.8	31.8	31.8	20.7	19.0	20.3
無回答	0.9	1.2	0.4	(-)	1.1	1.3	1.5	1.0	(-)	(-)	1.4

平成19年度第3回県政モニターアンケート報告書

「 交 通 安 全 」
平成 1 9 年 1 1 月 発 行
愛 知 県 知 事 政 策 局 広 報 広 聴 課
名 古 屋 市 中 区 三 の 丸 三 丁 目 1 番 2 号
電 話 (0 5 2) 9 5 4 - 6 1 6 9 (ダ イ ヤ ル イ ン)

この冊子は、再生紙を使用しています。

